

## Ⅱ 点検・評価結果

## 6 地域教育力の活性化

|                 |                  |
|-----------------|------------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>地域教育力の活性化</b> |
|-----------------|------------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|                  |               |                 |
|------------------|---------------|-----------------|
| ①地域教育協議会活動推進事業   | ②学校安全体制整備推進事業 | ③ねやがわ子どもフォーラム事業 |
| ④家庭教育サポートチーム派遣事業 | ⑤家庭教育学級事業     | ⑥子どもへの暴力防止プログラム |
| ⑦学校支援地域本部事業      |               |                 |
|                  |               |                 |
|                  |               |                 |

### 平成 30 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 30 年度 |
| 事業費     | 千円 | 32,063   |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～令和元年度)

地域コミュニティを更に活性化するために、講演会やイベント、子ども安全見守り隊等を活用し、学校・家庭・地域・行政が連携して社会全体で子どもを守る環境を構築する。

また、子育て等に不安や悩みを抱える保護者に対し、家庭教育サポーターを派遣し、支援を行うことや、講演会等を通じて、学校・家庭・地域の在り方を考える機会を提供する。

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～令和元年度)

「地域の子どもは地域で育てる」を目標に地域の人材を活用し、子育てに不安や悩みを抱える保護者が、自信を持って子育てをし、子どもが自己肯定感を持って健やかに成長するように支援することによって、地域教育力の活性化を図る。

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                   | 単位       | 平成 30 年度     |              |   |
|-----------------------|----------|--------------|--------------|---|
|                       |          | 目標値          | 実績値          | 達成度コメント   |
| <b>家庭教育サポーターの活動回数</b> | <b>回</b> | <b>7,250</b> | <b>7,828</b> | 平成 30 年度から家庭教育サポーターを市内全 24 小学校に配置したことにより、子育てに悩みや不安を抱える家庭に対し、より細やかな相談対応や支援を実施することができた。 |
| <b>安全見守り隊の登録者数</b>    | <b>人</b> | <b>6,250</b> | <b>4,488</b> | 見守り活動は継続的に実施されているが、児童数の減少や高齢化等により、新たな参加者の獲得が困難であった。                                   |

## 平成 30 年度における取組状況

| 構成取組① 地域教育協議会活動推進事業  |    |               |               |               |               |                        |              |
|--|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 計画 (Plan)  |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p>地域教育コミュニティの活性化に資する、各地域教育協議会による特色ある事業実施を一層促進するとともに、「子どもたちを安全安心に守り育てる事業」及び「社会規範・マナーを学ぶ事業」の着実な実施を促していく。</p>  |    |               |               |               |               |                        |              |
| 取組内容 (Do)  |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p><b>子どもたちを安全安心に守り育てる事業の実施</b><br/>           あいさつ運動や校区パトロール活動などを着実にできるように、必要に応じて指導や助言を行った。</p>   |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p><b>社会規範・マナーを学ぶ事業の実施</b><br/>           自転車利用マナー教室、茶道教室など、委託事業の主旨に沿った事業実施となるよう、適正な進行管理を行った。</p> <p>市地域教育協議会において各中学校区の取組等について情報共有を図るとともに、地域ごとの現状や課題について意見交換を行い、特色ある事業展開を促進した。</p> |    |               |               |               |               |                        |              |
| 活動指標等  | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
| 地域教育コミュニティ事業への参加者数   | 人  | 38,731        | 38,300        | 42,880        | 40,234        | 40,328<br>【43,500】     | 44,000       |
| 各地域教育協議会への情報提供回数   | 回  | 21            | 15            | 14            | 16            | 10<br>【25】             | 15           |
|  |    |               |               |               |               |                        |              |

## 取組内容（活動状況）

### 【地域教育協議会事業】

| 中学校区   | 主な事業実施内容                       |
|--------|--------------------------------|
| 第一中学校  | 教育講演会・学びのすすめ発行・自転車マナー教室        |
| 第二中学校  | スポーツ交流会・ふれあいコンサート・自転車マナー教室     |
| 第三中学校  | フェスタ・標語コンクール・自転車マナー教室・懇談会      |
| 第四中学校  | フェスタ・校区パトロール・職場体験学習・校区カレンダー発行  |
| 第五中学校  | フェスタ・こども議会・職場体験学習・茶道教室・校区パトロール |
| 第六中学校  | ふれ愛まつり・どんぐり工作・クリーンキャンペーン・講演会   |
| 第七中学校  | 非行防止教室・奉仕活動・自転車講習会・講演会         |
| 第八中学校  | グランドゴルフ大会・八の集い・校区パトロール・地域清掃    |
| 第九中学校  | 校園緑化運動・地域啓発標語・啓発パレード・盆踊り講習会    |
| 第十中学校  | フェスタ・校区パトロール・あいさつ運動            |
| 友呂岐中学校 | デイキャンプ・地域清掃活動・標語づくり・友中校区サミット   |
| 中木田中学校 | フェスタ・もちつき大会・絵手紙体験・防災講演会・清掃活動   |

## 評価（Check）

市地域教育協議会において、各校区間の情報共有や意見交換がより充実したものとなり、全校区の活動が一層活発化するなど、特色ある事業が増加したが、地域教育コミュニティ事業参加者数はほぼ横ばいで推移し、各地域教育協議会への情報提供回数は減少した。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                   |   |
|----------|-----------------------------------|---|
| <b>B</b> | A: 達成している<br>(90%以上)              | <p>市地域教育協議会において、積極的に情報交換や意見交換を行い、地域に応じた特色ある事業展開を更に促進し、学校・家庭・地域の連携強化を図り、更なる地域教育コミュニティ力の向上を図る。</p> <p>また、関係課と連携し、「学校運営協議会制度」導入に向けた調査研究を進めていく。</p> |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |   |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)            |   |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組② 学校安全体制整備推進事業

#### 計画 (Plan)

「子どもを守る」との市民意識の高まりを最大限にいかし、各種活動の充実を図るとともに、地域パトロールカーの安全運行や適正な活用を促していく。

#### 取組内容 (Do)

##### 登下校時の見守り活動

見守り隊従事者にベストや腕章を配布し、子どもの安全安心の確保に努めた。また、登下校時の子どもの見守り活動を通じて、地域住民等への周知啓発を図った。

地域パトロールカーの安全運行のため、文書により注意を促すとともに、青色防犯パトロール講習の際にも口頭にて注意喚起を行った。

| 活動指標等         | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|---------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| こども 110 番協力軒数 | 軒  | 4,861         | 3,297         | 3,193         | 3,175         | 3,333<br>【3,200】       | 3,400        |
|               |    |               |               |               |               |                        |              |
|               |    |               |               |               |               |                        |              |

## 取組内容（活動状況）

### 【学校安全体制整備推進事業取組状況】

|                       | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|
| 見守り隊登録者数<br>(24 小学校)  | 4,937 人  | 4,717 人  | 4,592 人  | 4,488 人  |
| 地域パトロールカー<br>年間平均稼働日数 | 111 日/校  | 103 日/校  | 101 日/校  | 98 日/校   |

## 評価（Check）

地域パトロールカーを積極的に活用した活動や、安全見守り隊による細やかな声掛け活動など、全 24 小学校区において地域の特性に応じた安全見守り活動を展開でき、「こども 110 番の家」への協力や理解も定着している。しかしながら、見守り隊登録者数、地域パトロールカー平均稼働日数は減少傾向にある。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                       |  |
|----------|---------------------------------------|--|
| <b>B</b> | A: 達成している<br>(90%以上)                  | 児童数の減少や見守り活動参加者の高齢化等により、登録者数等は減少傾向にあるが、「地域の子どもは地域で守る」との市民意識の高揚を図り、活動内容の充実を促進し、校区間の活動格差の解消に努めていく。 |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)        |  |
|          | C: 一部達成であり、<br>課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |  |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)                |  |

## 平成 30 年度における取組状況

|              |                       |
|--------------|-----------------------|
| <b>構成取組③</b> | <b>ねやがわ子どもフォーラム事業</b> |
|--------------|-----------------------|

### 計画 (Plan)

時事に即した市民ニーズの把握に努め、全体講演会や対象別の分科会を実施し、子どもと学校・家庭・地域の関わりを考える機会として充実を目指すとともに、子どもに関わる関係団体と連携し、幅広い市民への参加促進を図る。

### 取組内容 (Do)

#### 子どもに関わる関係団体との連携による開催

子どもの安全対策や子どもをもつ家庭が安心して子育てができるよう、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちを支え、育んでいくという機運を高めるため、子どもに関わる関係団体が参画する実行委員会に事業を委託し開催した。

平成 30 年度は会場を大阪電気通信大学寝屋川キャンパスに変更し、全体講演会を二部制として開催した。

#### <実行委員会参画団体>

- ・寝屋川市立校園 P T A 協議会
- ・寝屋川市青少年指導員会
- ・寝屋川市地域教育協議会
- ・寝屋川市家庭教育支援連絡会
- ・寝屋川市民生委員児童委員協議会

| 活動指標等              | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(見込値) | 30 年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|--------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|--------------|
| ねやがわ子どもフォーラム事業の満足度 | %  | 98.0           | 99.4           | 99.2           | 98.3           | 99.8<br>【100】           | 100          |
|                    |    |                |                |                |                |                         |              |
|                    |    |                |                |                |                |                         |              |



## 取組内容（活動状況）

<テーマ>

学校・家庭・地域で育てる～子どもの明るい未来のために～

<開催日時>

平成 31 年 2 月 9 日（土） 午前 9 時 30 分

<講演内容>

・講演会

第一部

「“笑活（わらかつ）”と“涙活（るいかつ）のススメ！」

橋本 昌人（放送作家）

第二部

「できないことは・・・？ ～成熟社会の子育て～」

杉本 厚夫（関西大学 人間健康学部教授）

<参加者数>

・ 322 人

## 評価（Check）

時事に即した市民ニーズの把握に努めるとともに、より参加者の満足度が高まるよう、事業内容について実行委員会で議論を行い、コミュニケーションの取り方や大切さ、固定概念に捉われない思考方法など、充実したテーマ・内容の講演会を実施することができた。

| 評定       |                                       | 今後の方向性（Innovation）  |
|----------|---------------------------------------|---|
| <b>A</b> | A: 達成している<br>(90%以上)                  | 子どもと学校・家庭・地域の関わりを考える機会として<br>充実した内容となるよう取り組んでいくとともに、一般市民<br>の参加を促していく。<br>また、子どもたちに関わる関係団体間の連携を強化し、<br>更なる事業内容の充実を図る。 |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)        |   |
|          | C: 一部達成であり、<br>課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)                |   |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組④ 家庭教育サポートチーム派遣事業

#### 計画 (Plan)

孤立する家庭への支援や家庭の健全化を進めるため、サポーターの資質の向上を図るとともに、児童生徒支援人材やスクールソーシャルワーカー等との連携を密にする。

また、児童生徒支援人材と連携し、夏季休業期間中に小1・中1全家庭訪問を行い、新たな環境への不安や悩みを抱える家庭の支援を行う。

#### 取組内容 (Do)

##### サポーターの配置校の拡充

平成 30 年度から家庭教育サポーターを 15 人から 24 人に増員し、市内全 24 小学校に配置した。

##### サポーター勤務時間の拡充 (一人当たり)

年間 590 時間が上限であった 1 人当たりの活動時間を 832 時間に拡充した。(平成 28 年度から 1 か月当たり約 20 時間拡大)

不登校傾向にある保護者の相談や家庭訪問を積極的に行うとともに、学校管理職をはじめ児童生徒支援人材やスクールソーシャルワーカー等との連携強化を図った。また、児童生徒支援人材と連携し、夏季休業期間中に小1・中1全家庭訪問を行い、新しい環境への不安や悩みの聞き取りや相談など、更なる家庭への支援を行った。

| 活動指標等         | 単位 | 26 年度 | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度            | 元年度   |
|---------------|----|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
|               |    | (実績値) | (実績値) | (実績値) | (実績値) | (実績値)<br>【見込値】   |       |
| 家庭教育サポーター活動回数 | 回  | 5,250 | 6,096 | 7,030 | 6,732 | 7,828<br>【7,250】 | 8,000 |
|               |    |       |       |       |       |                  |       |
|               |    |       |       |       |       |                  |       |

## 取組内容（活動状況）

＜サポーター活動回数内訳＞

|        | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|--------|----------|----------|----------|----------|
| 家庭訪問回数 | 2,768 回  | 3,399 回  | 3,242 回  | 3,881 回  |
| 相談回数   | 3,328 回  | 3,631 回  | 3,490 回  | 3,947 回  |

※平成 30 年度は夏季休業中小 1・中 1 全家庭訪問を除く

|        |         |         |         |          |
|--------|---------|---------|---------|----------|
| 児童対応回数 | 4,754 回 | 6,056 回 | 7,024 回 | 10,072 回 |
|--------|---------|---------|---------|----------|

※児童対応・・・授業中及び休憩時間の様子確認・給食の喫食状況確認・声掛け・相談対応など

## 評価（Check）

市内全 24 小学校にサポーターを配置したことにより、更なる家庭への支援や家庭の健全化を図ることができた。また、夏季休業期間中に小 1・中 1 全家庭訪問を行い、本事業の周知が更に進むなど、一層の家庭教育への支援が図られた。

家庭教育サポーターへの研修や交流会の実施による資質向上を図るとともに、学校内での連携を深め、児童や保護者への丁寧な対応を行った。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                   |  |
|----------|-----------------------------------|--|
| <b>A</b> | A: 達成している<br>(90%以上)              | <p>サポーターへの研修や交流会などの機会を充実することにより、更なる資質の向上を図る。</p> <p>また、令和元年度も夏季休業期間中に小 1 全戸家庭訪問を実施し、新しい環境への不安や悩みを抱える家庭への支援を行うとともに、更なる事業の周知を図る。</p> |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |  |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |  |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)            |  |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組⑤ 家庭教育学級事業

#### 計画 (Plan)

子育てや家庭教育を学ぶ機会として、また、子どもが学んだことを家庭内で共有する機会として、「家庭教育講座」や「おとなのCAP」を実施する。

また、「家庭教育支援者スキルアップ講習会」を実施することで、家庭教育支援者の資質の一層の向上を図るとともに、家庭教育支援者に適した人材を発掘する。

#### 取組内容 (Do)

##### 「おとなのCAP」開催回数の拡充

コミュニティセンターエリアごとに計6回開催した（平成28年度から拡充）。

##### 家庭教育講座

市内24小学校に拡充し、家庭教育に関する様々な講座を開催した。

##### 家庭教育支援者スキルアップ講習会

家庭教育支援者の発掘・育成に向けた連続講座を計6回開催した。

| 活動指標等          | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|----------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 家庭教育学級事業への参加者数 | 人  | 1,229         | 1,097         | 1,319         | 1,172         | 2,074<br>【1,600】       | 2,100        |
| 家庭教育学級参加者満足度   | %  | 96            | 96            | 93            | 91            | 87<br>【100】            | 95           |
|                |    |               |               |               |               |                        |              |

## 取組内容（活動状況）

<実施状況>

| 内 容                      | 場 所        | 回数   | 受講者     |         | 満足度 |     |
|--------------------------|------------|------|---------|---------|-----|-----|
|                          |            |      | H29     | H30     | H29 | H30 |
| 家庭教育講座                   | 市内全 24 小学校 | 24 回 | 797 人   | 1,624 人 | 89% | 91% |
| 家庭教育支援者<br>スキルアップ<br>講習会 | 市役所本庁      | 6 回  | 208 人   | 320 人   | 79% | 81% |
| おとなのCAP                  | 市内 6 コミセン  | 6 回  | 130 人   | 130 人   | 94% | 87% |
| 合 計                      |            |      | 1,098 人 | 2,074 人 | -   | -   |

## 評価（Check）

家庭教育サポーターが全 24 小学校に配置されたことから、家庭教育講座を全 24 小学校で開催し、保護者や地域の方が家庭教育について学ぶ場の拡充を図ることができた。

また、参加者からは家庭や子育ての悩みが軽減され、振り返る良い機会となったなど、好評を得られたが、受講対象者の拡充を更に進める必要はある。

| 評定       |                                       | 今後の方向性（Innovation）   |
|----------|---------------------------------------|--|
| <b>B</b> | A: 達成している<br>(90%以上)                  | 引き続き、全 24 小学校区において家庭教育講座を実施し、学習の場を提供する。<br>また、家庭教育支援者スキルアップ講習会により、家庭教育支援者の資質の一層の向上を図るとともに、新たな人材発掘の機会とする。 |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)        |  |
|          | C: 一部達成であり、<br>課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |  |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)                |  |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組⑥ 子どもへの暴力防止プログラム

#### 計画 (Plan)

子どもの安全・安心を守るため、今後も引き続き市内全小学校の3年生・6年生を対象にCAPを実施する。

#### 取組内容 (Do)

##### CAPプログラムの学校との情報共有の実施

各小学校担当教諭とCAPスペシャリストが事前に協議を行い、児童の現状を正確に把握した上で、市内24小学校の3年生・6年生において実施した。

| 活動指標等 | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|-------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 受講児童数 | 人  | 1,873         | 1,932         | 1,937         | 3,716         | 3,695<br>【3,549】       | 3,522        |
|       |    |               |               |               |               |                        |              |
|       |    |               |               |               |               |                        |              |

## 取組内容（活動状況）

＜実施状況＞

- ・平成 25 年度  
58 クラス 1,944 人
- ・平成 26 年度  
56 クラス 1,873 人
- ・平成 27 年度  
60 クラス 1,932 人
- ・平成 28 年度  
65 クラス 1,937 人
- ・平成 29 年度  
【小 3】65 クラス 1,916 人  
【小 6】57 クラス 1,800 人（平成 29 年度から実施）
- ・平成 30 年度  
【小 3】60 クラス 1,785 人  
【小 6】60 クラス 1,910 人

## 評価（Check）

各小学校の協力により、事業者との事前協議を綿密に行うことができたことで、児童に分かりやすくきめ細かな事業内容とすることができた。

| 評価       |                                   | 今後の方向性（Innovation）   |
|----------|-----------------------------------|--|
| <b>A</b> | A: 達成している<br>(90%以上)              | 子どもたちの安全・安心を守るため、引き続き市立小学校全 3・6 年生を対象に実施するとともに、小学校 6 年生に対しては中学校進学を見据え、更なる理解を深められるよう、プログラム内容の充実を図る。 |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |  |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |  |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)            |  |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組⑦ 学校支援地域本部事業

#### 計画 (Plan)

市地域教育協議会において、今後の本事業の在り方を検討していく。

#### 取組内容 (Do)

##### 学校支援ボランティア活動の実施

受託団体である各中学校区地域教育協議会が当初の計画に基づき、着実に事業を実施することができるよう、必要に応じて指導や助言を行った。

また、市地域教育協議会において、本事業と地域教育協議会事業の整理等について意見交換を行った。

| 活動指標等           | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|-----------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 学校支援地域本部事業の活動回数 | 回  | 8,593         | 7,996         | 8,815         | 8,469         | 8,212<br>【8,900】       | 8,600        |
| ボランティア活動人数      | 人  | 118,835       | 113,503       | 117,547       | 132,078       | 130,478<br>【120,300】   | 131,000      |
|                 |    |               |               |               |               |                        |              |



### 取組内容（活動状況）

#### 【学校支援地域本部事業参加状況】

|               | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|---------------|----------|----------|----------|----------|
| 学校支援コーディネーター数 | 45 人     | 43 人     | 45 人     | 40 人     |

### 評価（Check）

学校支援地域本部事業において、受託団体である各中学校区地域教育協議会が、子どもの見守り活動や環境整備など、学校からの要請に応じた支援活動を地域ボランティアの協力を得ながら活動を展開し、地域教育コミュニティの活性化につながったが、活動回数、ボランティア活動人数、学校支援コーディネーターともに減少となった。

#### 評定

#### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                      |   |
|----------|--------------------------------------|---|
| <b>B</b> | A:達成している<br>(90%以上)                  | 引き続き、学校支援活動の充実を図りつつ、国・府における地域学校協働活動の動向を注視しながら、今後の地域コミュニティ事業の方向性を検討していく。 |
|          | B:おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)        |   |
|          | C:一部達成であり、<br>課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
|          | D:達成できていない<br>(50%未満)                |   |

## 教育大綱重点取組の総合評価

|  |            |   |          |
|--|------------|---|----------|
| ① 地域教育協議会活動推進事業  | B          | ⑨   |          |
| ② 学校安全体制整備推進事業   | B          | ⑩   |          |
| ③ ねやがわ子どもフォーラム事業   | A          | ⑪   |          |
| ④ 家庭教育サポートチーム派遣事業  | A          | ⑫   |          |
| ⑤ 家庭教育学級事業   | B          | ⑬   |          |
| ⑥ 子どもへの暴力防止プログラム   | A          | ⑭   |          |
| ⑦ 学校支援地域本部事業   | B          | ⑮   |          |
| ⑧  |            | ⑯   |          |
| <p>上記については、重点取組内の構成取組における評定を記入し、評定平均を計算。</p> <p><b>評定点数</b><br/> <u>A = 5</u>、<u>B = 3</u>、<u>C = 2</u>、<u>D = 1</u></p>   |            | <p>総合評価基準</p> <p>A：取組評価平均 4.0 以上</p> <p>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満</p> <p>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満</p> <p>D：取組評価平均 1.5 未満</p> |          |
| <b>評定平均</b>  | <b>3.9</b> | <b>総合評価</b>   | <b>B</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>   |            |   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭教育サポートチーム派遣事業における夏季休業中の小1・中1全家庭訪問は、素晴らしい取組である。費用対効果も含め、施策の内容をより広報していくことも重要と考える。</li> <li>・ 寝屋川市は学校安全のための地域の取組が全国トップクラスである。しかしながら、高齢化や問題の複雑化などの課題があるのも事実である。一切の危険がなくなることはないが、引き続き、より良いものになるよう進めていきたい。</li> <li>・ 学校運営協議会制度は、全国で既に導入されている自治体もあるため、課題等を検討し、寝屋川市らしい制度の構築を目指していただきたい。</li> </ul> |            |   |          |
| <b>総合評価</b>  |            |   |          |
| <p>子育てに不安や悩みを持つ保護者に対する支援強化のため、家庭教育サポーターを15人から24人（全校配置）に増員するとともに、夏季休業期間中に小1中1家庭への訪問を実施し、子育て等への不安の解消を図った。また、全24小学校において家庭教育講座を拡充実施し、小学校と連携した保護者へのサポートを実施できた。</p> <p>今後、「学校運営協議会制度」導入に向け、関係課と連携した調査研究を進める中で、地域教育力の向上に向けた新たな取組についても併せて検討していく。</p>   |            |   |          |

## 7 青少年の健全育成

|                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>青少年の健全育成</b> |
|-----------------|-----------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|               |                  |              |
|---------------|------------------|--------------|
| ①放課後子供教室推進事業  | ②留守家庭児童会児童健全育成事業 | ③青少年リーダー育成事業 |
| ④青少年の居場所づくり事業 | ⑤成人式事業           | ⑥青少年健全育成事業   |
|               |                  |              |
|               |                  |              |
|               |                  |              |

### 平成 30 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 30 年度 |
| 事業費     | 千円 | 214,208  |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～令和元年度)

|  |
|--|
| <p>全ての児童にとって安全・安心な放課後の居場所づくりを推進するため、「放課後子供教室事業」及び「留守家庭児童会事業」を実施する。</p> <p>子ども・子育て支援新制度により対象児童が小学6年生までに拡充されたことを受け、入会児童の増加に伴う、環境整備を実施する。</p> <p>市内在住・在学の小学生からおおむね30歳までの若者が、社会体験、ボランティア活動やキャンプ活動を通じて、次代を担う青少年リーダーを育成する。</p> <p>中学生以上の青少年が、安全・安心に集える場所として青少年の居場所を増設する。</p> |
|--|

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～令和元年度)

|   |
|---|
| <p>「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童対策事業の一体化を進め、留守家庭児童会は、小学6年生まで活動の場を確保しつつ、児童支援員の確保及び資質向上を目指す。</p> <p>青少年リーダー育成事業では、ユースリーダーの資質向上を図りながら事業の企画立案運営ができるようにサポートする。市内の青少年が、安全・安心に集える場所として、池の里市民交流センターの青少年の居場所「スマイル」を拡充するとともに、こどもセンターに青少年の居場所を新たに開設し、次代を担う青少年リーダーの組織化を目指す。</p> |
|---|

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                              | 単位       | 平成 30 年度      |               |   |
|----------------------------------|----------|---------------|---------------|---|
|                                  |          | 目標値           | 実績値           | 達成度コメント   |
| <b>青少年活動の参加者数</b>                | <b>人</b> | <b>38,400</b> | <b>27,874</b> | 各事業の推進により、活動機会の充実を図ることができた。(実績値は、青少年の居場所・成人式・青少年リーダー・青年祭の参加者合計) |
| <b>留守家庭児童会児童の放課後子供教室事業への参加者数</b> | <b>人</b> | <b>2,160</b>  | <b>3,585</b>  | 全24小学校において留守家庭児童会と放課後子供教室の一体的な取組を促進することができた。                    |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組① 放課後子供教室推進事業

#### 計画 (Plan)

平成 28 年度からの「放課後子ども総合プラン」実施に伴い、放課後児童対策事業（留守家庭児童会事業、放課後子供教室事業、放課後校庭開放事業）を総合的に実施していくため、これまでのモデル校 12 校に残りの 12 校を加え、放課後校庭開放事業を放課後子供教室のプログラムの一つとして実施する。

#### 取組内容 (Do)

##### 「放課後子ども総合プラン」モデル校の設置・拡充

「放課後子ども総合プラン」の実施に伴い、放課後子ども総合プラン運営委員会を開催し、令和元年度実施に当たっての改善点や方向性などを検討した。

また、平成 30 年度から市立全 24 小学校に「放課後子ども総合プラン」を導入し、放課後校庭開放事業を放課後子供教室のプログラムの一つとして実施するとともに、留守家庭児童会児童も参加できる、一体的な放課後の居場所づくりを推進した。

| 活動指標等       | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(実績値) | 30 年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|-------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|--------------|
| 放課後子供教室実施日数 | 日  | 1,979          | 1,936          | 2,442          | 2,759          | 3,585<br>【3,000】        | 3,600        |
| 放課後子供教室参加者数 | 人  | 63,198         | 60,803         | 94,631         | 120,639        | 147,340<br>【135,000】    | 163,000      |
|             |    |                |                |                |                |                         |              |

## 取組内容（活動状況）

### ＜放課後子ども総合プラン事業実施状況＞

|           | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度  | 平成 29 年度  | 平成 30 年度  |
|-----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 実施回数      | 1,979 回  | 1,936 回  | 2,442 回   | 2,759 回   | 3,585 回   |
| 参加児童数     | 63,198 人 | 60,803 人 | 94,631 人  | 120,639 人 | 147,340 人 |
| 大人・運営スタッフ | 12,874 人 | 11,468 人 | 12,144 人  | 12,139 人  | 14,684 人  |
| 人数合計      | 76,072 人 | 72,271 人 | 106,775 人 | 132,778 人 | 162,024 人 |

※平成 28 年度・・・モデル校 6 校導入  
 平成 29 年度・・・モデル校 12 校導入  
 平成 30 年度・・・市立全 24 校導入

### ＜放課後子ども総合プラン運営委員会開催状況＞

第 1 回：平成 30 年 7 月 30 日〔副委員長の選出及び提言書・報告書等について〕  
 第 2 回：平成 30 年 9 月 28 日〔プログラムの内容及び委託金について〕  
 第 3 回：平成 30 年 11 月 16 日〔評価及び組織運営について〕  
 第 4 回：平成 31 年 2 月 8 日〔報告書について〕

## 評価（Check）

全 24 校において放課後子供教室、放課後校庭開放事業、留守家庭児童会事業を一体的な事業として実施するとともに、放課後子ども総合プラン運営委員会において、事業の定着化に向けた体験プログラムの内容や事業運営等の改善点を検討し、報告書として提出いただいた。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                   |   |
|----------|-----------------------------------|---|
| <b>A</b> | A: 達成している<br>(90%以上)              | 引き続き、全 24 校で放課後児童対策事業（留守家庭児童会事業、放課後子供教室事業、放課後校庭開放事業）を一体的に実施する中で、運営委員会報告書の内容を活用し、放課後の居場所の更なる充実を推進していく。 |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |   |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)            |   |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組② 留守家庭児童会児童健全育成事業

#### 計画 (Plan)

入会児童数の増加に見合う児童会室の確保と整備に取り組むとともに、児童支援員の資質の向上を図る。

また、保育サービスの一層の充実を図るため、平成 30 年度に土曜日開所を実施するとともに、保護者に対して休日（日曜）開所に関するアンケート調査を実施する。

#### 取組内容 (Do)

##### 留守家庭児童会入会児童（高学年）の拡充

平成 27 年度から開始した高学年の受入れについては、平成 28 年度に全 24 校に拡充。引き続き、指導員（放課後児童支援員）の体制整備を図って実施した。

##### 留守家庭児童会施設の整備

入会児童数の増加への対応や安全・安心な保育を行うため、児童会室の施設設備の維持管理を行った。

##### 留守家庭児童会の土曜日開所

平成 30 年 6 月から市内 12 小学校において土曜日開所を実施するとともに、利用者へのアンケート調査、休日開所に関するニーズ調査を実施した。

| 活動指標等 | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(実績値) | 30 年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|-------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|--------------|
| 入会児童数 | 人  | 1,664          | 1,860          | 2,088          | 2,135          | 2,191<br>【2,198】        | 2,215        |
| 実施箇所数 | 区画 | 39             | 40             | 56             | 57             | 60<br>【57】              | 62           |
|       |    |                |                |                |                |                         |              |

## 取組内容（活動状況）

<入会児童数（各年度5月1日現在）>

| 年 度    | 1～3年   | 4～6年 | 合 計    |
|--------|--------|------|--------|
| 平成26年度 | 1,601人 | 63人  | 1,664人 |
| 平成27年度 | 1,754人 | 106人 | 1,860人 |
| 平成28年度 | 1,742人 | 346人 | 2,088人 |
| 平成29年度 | 1,747人 | 388人 | 2,135人 |
| 平成30年度 | 1,753人 | 438人 | 2,191人 |

<職場集合研修の実施状況（平成30年度）>

| 実施日    | 研修内容             | 受講者数 |
|--------|------------------|------|
| 5月18日  | 高学年を含めた学童の生活とあそび | 96人  |
| 6月27日  | アレルギー・エピペン       | 94人  |
| 7月13日  | 障がい児の発達          | 93人  |
| 9月10日  | 職員コミュニケーション      | 91人  |
| 10月10日 | 子ども理解            | 87人  |
| 11月9日  | 障がい児研修（ケース判断）    | 95人  |
| 12月5日  | 家族支援             | 91人  |

## 評価（Check）

安全・安心な子どもの生活の場の確保や低学年から高学年までの児童を対象とした保育を行うため、必要な児童会室の施設整備、人員確保や支援員の資質向上に努めるとともに、更なる保育サービスの拡充に向けての検討を行い、土曜日開所を年度途中（6月）から実施することができた。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                   |   |
|----------|-----------------------------------|---|
| <b>A</b> | A: 達成している<br>(90%以上)              | 保護者の就労状況の変化など、社会情勢を踏まえた児童の受入体制の整備を推進するとともに、支援員の確保や資質向上など、更なる保育サービスの充実を図る。<br>また、入所児童数の推移を注視し、児童会室の整備や確保について、学校との調整を進める。 |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |   |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)            |   |



## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組③ 青少年リーダー育成事業

#### 計画 (Plan)

ユースリーダーや中高生リーダーにおいては、年次的な資質向上を図るため、平成 30 年度終了後の目標を示すとともに、目標達成のために必要な指導計画を立案していく。

小学生クラブにおいては、参加者増と継続登録者増を目指し、プログラム内容を充実していく。

#### 取組内容 (Do)

##### ユースリーダーによる企画・運営・指導の拡充

小学生及び中高生クラブでの指導や青年祭事業の企画、運営などの実績を踏まえ、令和元年度指導計画を立案した。

##### 小学生リーダーの養成

中高生クラブ合同での交流会や中高生クラブ加入者が小学生クラブの指導補助を行うなど、中高生クラブへの継続加入者増のためのプログラム等を実施した。

##### 中高生リーダーの養成

ユースクラブ合同での交流会や小学生クラブにおける指導補助に携わるなど、ユースリーダーへの登録を見据えたプログラム等を実施した。

##### 青年祭の開催

幅広い分野での青少年交流を図ることができる事業として実施した。  
また、寝屋川文化芸術祭と同日に開催し、多くの市民に事業を周知した。

| 活動指標等                    | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|--------------------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 青少年リーダー登録者数<br>(ユースリーダー) | 人  | 43            | 33            | 38            | 41            | 41<br>【55】             | 45           |
|                          |    |               |               |               |               |                        |              |
|                          |    |               |               |               |               |                        |              |

## 取組内容（活動状況）

### 【青少年リーダー育成事業参加状況】

|        | 平成 27 年度 |       | 平成 28 年度 |       | 平成 29 年度 |       | 平成 30 年度 |       |
|--------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|
| 小学生クラブ | 12 回     | 401 人 | 12 回     | 604 人 | 12 回     | 578 人 | 11 回     | 371 人 |
| 中高生クラブ | 16 回     | 135 人 | 17 回     | 127 人 | 16 回     | 115 人 | 19 回     | 134 人 |
| ユースクラブ | 9 回      | 111 人 | 14 回     | 223 人 | 22 回     | 232 人 | 19 回     | 218 人 |

### 【青年祭参加状況】

|        | 平成 27 年度         | 平成 28 年度         | 平成 29 年度         | 平成 30 年度         |
|--------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 出演団体数  | 375 人<br>(63 団体) | 187 人<br>(31 団体) | 297 人<br>(24 団体) | 255 人<br>(24 団体) |
| 事業参加者数 | 1,444 人          | 574 人            | 729 人            | 826 人            |

## 評価（Check）

青少年事業や地域活動を自ら展開できる人材を育成するため、各階層に適応したプログラム開発や年次的指導計画策定に向けて取り組んだ。

青年祭の出演者募集や開催周知については、市内外へのPRなども含めた情報発信をより充実させる必要がある。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                   |   |
|----------|-----------------------------------|---|
| <b>B</b> | A: 達成している<br>(90%以上)              | <p>地域活動を自ら展開できる人材を育成するため、専門性の高いプログラムの提供や各年代に適応した指導計画を立案し、リーダーズ組織全体のスキルアップを図る。</p> <p>青年祭については、多くの若者の参加や他市から本市を訪れる機会となるよう、プログラムの内容や広報活動、実施日時も含めて再度検討し、更なる青年交流の充実を図る。併せて、本事業について積極的に市内外へPRするなど、更なる事業周知を図っていく。</p> |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |   |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)            |   |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組④ 青少年の居場所づくり事業

#### 計画 (Plan)

平成 28 年 8 月から施設を拡充し、利用者が増加したことに伴う施設の適切な維持管理を行う。また、スタッフの人材育成を図り、利用者ニーズに即した運営を行う。

#### 取組内容 (Do)

##### スペース及び開設日の拡充

青少年の居場所「スマイル」について、平成 28 年 8 月から、新たに楽器などの練習ができる防音室や畳部屋などを増設するとともに、開設日を週 3 日から年末年始を除く毎日とし、開設時間を午後 7 時であったものを午後 8 時までとした。

##### こどもセンターに青少年の居場所を新規開設

平成 28 年 8 月から、こどもセンター 3 階に新たな青少年の居場所として「ハピネス」を開設し、年末年始を除く毎日、午後 8 時までとした。

スタッフ対象の研修を実施するとともに全体会議を開催し、課題を抱える利用者への対応について情報共有を行うなど、より満足度の高い運営方法について不断の検討を行った。

| 活動指標等       | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(実績値) | 30 年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|-------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|--------------|
| 青少年の居場所利用者数 | 人  | 6,262          | 8,646          | 20,081         | 22,328         | 24,693<br>【23,000】      | 25,000       |
|             |    |                |                |                |                |                         |              |
|             |    |                |                |                |                |                         |              |

## 取組内容（活動状況）

＜利用者数＞  
（所属区分別）

| 年 度      | 中学生                 | 高校生                | 大学生                | 一 般             | 合 計      |
|----------|---------------------|--------------------|--------------------|-----------------|----------|
| 平成 27 年度 | 5,528 人<br>(63.9%)  | 2,138 人<br>(24.8%) | 909 人<br>(10.5%)   | 71 人<br>(0.8%)  | 8,646 人  |
| 平成 28 年度 | 11,687 人<br>(58.2%) | 4,499 人<br>(22.4%) | 3,646 人<br>(18.2%) | 249 人<br>(1.2%) | 20,081 人 |
| 平成 29 年度 | 13,485 人<br>(60.4%) | 5,703 人<br>(25.6%) | 2,806 人<br>(12.5%) | 334 人<br>(1.5%) | 22,328 人 |
| 平成 30 年度 | 15,082 人<br>(61.1%) | 7,596 人<br>(30.7%) | 1,621 人<br>(6.6%)  | 394 人<br>(1.6%) | 24,693 人 |

（男女別）

| 年 度      | 男 性              | 女 性             | 合 計      |
|----------|------------------|-----------------|----------|
| 平成 27 年度 | 4,820 人 (55.7%)  | 3,826 人 (44.3%) | 8,646 人  |
| 平成 28 年度 | 12,486 人 (62.2%) | 7,595 人 (37.8%) | 20,081 人 |
| 平成 29 年度 | 14,147 人 (63.4%) | 8,181 人 (36.6%) | 22,328 人 |
| 平成 30 年度 | 16,433 人 (66.5%) | 8,260 人 (33.5%) | 24,693 人 |

＜開設日数＞

- ・平成 27 年度：150 日
- ・平成 28 年度：279 日（スマイル）、233 日（ハピネス）
- ・平成 29 年度：344 日（スマイル）、355 日（ハピネス）
- ・平成 30 年度：318 日（スマイル）、346 日（ハピネス）

＜開設曜日・時間＞

平日：午後 3 時～午後 8 時

土・日曜日、祝日、学校休業期間中：正午～午後 8 時

## 評価（Check）

スタッフを対象とした研修や会議を通じて、人材育成を行うとともに、利用者のニーズに応じた施設の充実を図るなど、青少年が利用しやすい環境づくりを行った。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                  |  |
|----------|----------------------------------|--|
| <b>A</b> | A:達成している<br>(90%以上)              | 引き続き、スタッフの人材育成や施設設備の維持管理を図るとともに、より安全な施設整備管理と運営体制を構築し、市立中学校とも連携を図る中で、青少年が安心して気軽に立ち寄れる居場所づくりを推進する。 |
|          | B:おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |  |
|          | C:一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |  |
|          | D:達成できていない<br>(50%未満)            |  |

## 平成 30 年度における取組状況

| 構成取組⑤ 成人式事業  |    |               |               |               |               |                        |              |
|--|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| <b>計画 (Plan)</b>   |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p>新成人による実行委員会の活動を総合的に支援し、新たな発想によるイベント内容の充実を図るとともに、SNSの活用などにより、積極的に情報発信を行っていく。</p>   |    |               |               |               |               |                        |              |
| <b>取組内容 (Do)</b>   |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p><b>新成人による第二部の企画・運営の実施</b></p> <p>新成人による実行委員会を組織し、市主催事業としてふさわしい第二部となるよう企画立案を進めた。</p> <p><b>【主な事業内容】</b></p> <p>第一部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○記念式典</li> <li>○市ふるさと大使である大関豪栄道関からのビデオレター</li> </ul> <p>第二部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○オープニングダンス4団体</li> <li>○(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属芸能人（2組）による漫才</li> <li>○クイズ大会・抽選会</li> </ul> |    |               |               |               |               |                        |              |
| 活動指標等  | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績額)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
| 新成人の出席率  | %  | 65.5          | 67.1          | 68.7          | 66.4          | 67.9<br>【69.5】         | 68.3         |
|  |    |               |               |               |               |                        |              |
|  |    |               |               |               |               |                        |              |

## 取組内容（活動状況）

### 【男女別成人式参加状況】

| 性別 | 項目   | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|----|------|----------|----------|----------|----------|
| 男  | 対象者数 | 1,156 人  | 1,252 人  | 1,308 人  | 1,228 人  |
|    | 出席者数 | 762 人    | 835 人    | 798 人    | 788 人    |
|    | 出席率  | 65.9%    | 66.7%    | 61.0%    | 64.2%    |
| 女  | 対象者数 | 1,173 人  | 1,192 人  | 1,090 人  | 1,175 人  |
|    | 出席者  | 800 人    | 844 人    | 794 人    | 844 人    |
|    | 出席率  | 68.2%    | 70.8%    | 72.8%    | 71.8%    |

## 評価（Check）

実行委員長を中心とした活発な議論など、実行委員会が順調に機能し、より充実した事業が実施できた。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                   |  |
|----------|-----------------------------------|--|
| <b>A</b> | A: 達成している<br>(90%以上)              | <p>今後も引き続き、SNSなどを活用した積極的な情報提供により、成人式出席者の増加を目指すとともに、実行委員として参画する新成人の確保や事業の充実に努めていく。併せて、民法改正に伴う成人年齢引き下げ後の事業の在り方について、一定の方向性を示していく。</p> |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |  |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |  |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)            |  |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組⑥ 青少年健全育成事業

#### 計画 (Plan)

青少年指導員の資質向上に向けた研修等を実施するとともに、各委託事業を着実に実施できるよう、必要な指導・助言を行っていく。

#### 取組内容 (Do)

##### 中学生の主張

市立 12 中学校及び市内私立中学校への協力依頼を積極的に実施した。

##### 青少年育成促進事業

青少年育成事業として各中学校区指導員会が中心となり、デイキャンプやハイキング、スポーツ大会など、地域ごとに特色ある事業を実施した。

##### オアシス運動の実施

各小中学校において登校時に校門付近であいさつ運動を実施するとともに、市内の四駅周辺でのティッシュ配布による啓発活動を実施した。

| 活動指標等               | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(実績値) | 30 年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|---------------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|--------------|
| 各中学校区の青少年育成促進事業参加者数 | 人  | 4,755          | 5,993          | 5,901          | 4,758          | 5,477<br>【6,200】        | 5,500        |
| 中学生の主張発表会参加者数       | 人  | 264            | 255            | 247            | 263            | 212<br>【340】            | 300          |
|                     |    |                |                |                |                |                         |              |

## 取組内容（活動状況）

### 【青少年健全育成事業参加状況】

|                | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|----------------|----------|----------|----------|----------|
| 中学生の主張<br>応募者数 | 2,043 人  | 2,225 人  | 2,139 人  | 1,739 人  |

### 【青少年育成促進事業実施状況】

| 中学校区   | 主な事業内容                      |
|--------|-----------------------------|
| 第一中学校  | 東コミセンまつりこどもコーナー運営           |
| 第二中学校  | 桜小秋祭り・池田小秋祭り                |
| 第三中学校  | ハイキング・京都鉄道博物館               |
| 第四中学校  | E-ne 学園ふれあいフェスタ手作りコーナー運営    |
| 第五中学校  | 五中校区すこやかフェスタあそびのコーナー運営      |
| 第六中学校  | 手作り&体験オリンピック                |
| 第七中学校  | 南小まつり・堀溝小まつり・堀小デイキャンプ等      |
| 第八中学校  | 校庭キャンプ・西小フェスティバル・点野小フェスティバル |
| 第九中学校  | わくわくふれあい体験                  |
| 第十中学校  | 宇谷小フェスタ子ども手作り教室運営           |
| 友呂岐中学校 | デイキャンプ（猛暑により中止）             |
| 中木田中学校 | ともだちになろうフェスティバル             |

## 評価（Check）

青少年指導員の資質向上を図るため、研修会、中学生の主張事業やオアシス運動啓発活動などの自主事業を円滑に実施することができたが、研修・事業ともに青少年指導員の参加率は減少した。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                       |   |
|----------|---------------------------------------|---|
| <b>B</b> | A: 達成している<br>(90%以上)                  | 引き続き、青少年指導員会としての自主事業や研修の充実などについて検討を促すとともに、本部役員6人と校区代表12人との統合など、組織力強化に向けた検討を進めていく。 |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)        |   |
|          | C: 一部達成であり、<br>課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)                |   |



## 教育大綱重点取組の総合評価

|   |            |   |          |
|---|------------|---|----------|
| ① 放課後子供教室推進事業   | A          | ⑨   |          |
| ② 留守家庭児童会児童健全育成事業   | A          | ⑩   |          |
| ③ 青少年リーダー育成事業   | B          | ⑪   |          |
| ④ 青少年の居場所づくり事業  | A          | ⑫   |          |
| ⑤ 成人式事業   | A          | ⑬   |          |
| ⑥ 青少年健全育成事業   | B          | ⑭   |          |
| ⑮   |            | ⑮   |          |
| ⑯   |            | ⑰   |          |
| <p>上記については、重点取組内の構成取組における評定を記入し、評定平均を計算。</p> <p><b>評定点数</b><br/> <u>A = 5</u>、<u>B = 3</u>、<u>C = 2</u>、<u>D = 1</u></p>  |            | <p>総合評価基準</p> <p>A：取組評価平均 4.0 以上</p> <p>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満</p> <p>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満</p> <p>D：取組評価平均 1.5 未満</p> |          |
| <b>評定平均</b>   | <b>4.3</b> | <b>総合評価</b>   | <b>A</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>  |            |   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年の居場所づくりは、非常に素晴らしい取組である。最近では、青少年だけではなく大人も居場所がないことが問題になってきており、これまでの取組をもとに、教育委員会が中心となって事業を拡充していただきたい。</li> <li>・ 青少年の健全育成には、関係する様々な団体及び様々な施策があるが、対象となる児童は減少している。市長部局と教育委員会の施策を精査し、連携・統合できるものはないか検討していただきたい。</li> </ul> |            |   |          |
| <b>総合評価</b>   |            |   |          |
| <p>留守家庭児童会については、更なる保育サービスの向上のため、平成 30 年 6 月から土曜開所を実施するとともに、利用者へのアンケート調査や休日開所に関するニーズ調査を実施した。</p> <p>「放課後子ども総合プラン」を全 24 小学校に導入し、留守家庭児童会と放課後子供教室の一体的な取組を促進することで、子どもたちの安全・安心な放課後の居場所づくりを積極的に進めた。</p>  |            |   |          |

## 8 文化芸術の振興

|                 |                |
|-----------------|----------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>文化芸術の振興</b> |
|-----------------|----------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|            |           |  |
|------------|-----------|--|
| ①アルカスホール管理 | ②文化施策振興事業 |  |
|            |           |  |
|            |           |  |
|            |           |  |

### 平成 30 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 30 年度 |
| 事業費     | 千円 | 68,832   |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～令和元年度)

|   |
|---|
| <p>地域交流や文化振興の拠点としてアルカスホールをより一層活用するとともに、文化に関するきめ細かな情報発信を行い、文化振興のための環境づくりを推進する。</p> <p>また、活動・発表・鑑賞の機会の充実を図るとともに、文化芸術活動を担う人材の育成や新たな参加者の獲得など、文化芸術活動の活性化を図る。</p> |
|---|

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～令和元年度)

|  |
|--|
| <p>アルカスホールの利便性の向上を図るため、積極的な自主事業の展開や施設のPRが行われるよう、指定管理者との連携を推進する。</p> <p>各文化事業の実施に当たっては、より効果的・効率的な実施に努めるとともに、「囲碁・将棋活動推進事業」や「寝屋川文化芸術祭」など、魅力ある事業の検討を進める。</p> |
|--|

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                 | 単位 | 平成 30 年度 |        |   |
|---------------------|----|----------|--------|---|
|                     |    | 目標値      | 実績値    | 達成度コメント   |
| <b>アルカスホールの入場者数</b> | 人  | 77,900   | 94,397 | 大阪府北部地震の影響により、他施設からの利用者が増加し、また自主事業が充実し参加者数が増加したため、目標値を達成することができた。                           |
| <b>文化振興事業の参加者数</b>  | 人  | 58,300   | 53,697 | 目標値には達成していないものの、過年度の事業を再構築し、新しい「寝屋川文化芸術祭」として、更なる文化芸術の振興と都市格向上としてのイベントを実施するなど、文化芸術活動の充実に努めた。 |

## 平成 30 年度における取組状況

| 構成取組① アルカスホール管理   |    |               |               |               |               |                        |              |
|---|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 計画 (Plan)   |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p>アルカスホールにおいて、市民の文化芸術活動への支援、にぎわいと地域交流の創出を図る事業や効果的・魅力ある自主事業の展開、加圧給水設備の修繕の実施など、指定管理者との一層の連携を図る。</p>  |    |               |               |               |               |                        |              |
| 取組内容 (Do)   |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p><b>空調設備等の修繕の実施</b></p> <p>アルカスホールの施設の維持管理において、設備の保守点検を行う中で異常が見つかった給水系統の加圧給水設備の修繕を実施した。</p> <p>指定管理者との定例会議等を通じ、市民の文化芸術活動への支援を充実し、また、にぎわいと地域交流の創出を図る事業や、魅力ある自主事業の展開などが行われた。</p> <p>また、利用者の広がりや、リピーター化を図るため、不定期で実施していたコンサート関係の自主事業を、定期的に実施した。</p> <p>寝屋川文化芸術祭での実行委員会と連携した事業の実施や、従前市の事業として実施していたピアノコンクールを未就学児から中学生までを対象とし、自主事業として開催するほか、各種団体の利用促進を図るなど、ホールの積極的な活用を推進した。</p> <p>消防訓練においては、隣接する大阪電気通信大学駅前キャンパスと合同で実施し、実践的な避難訓練に取り組むことができた。</p> |    |               |               |               |               |                        |              |
| 活動指標等   | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
| アルカスホールの稼働率   | %  | 55.5          | 56.7          | 60.2          | 61.8          | 65.7<br>【63.0】         | 66.0         |
|   |    |               |               |               |               |                        |              |
|   |    |               |               |               |               |                        |              |

## 取組内容（活動状況）

地域交流センター（アルカスホール）利用状況＞

|                  | 平成28年度      |             | 平成29年度      |             | 平成30年度      |             |
|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|                  | 使用回数<br>(回) | 入場者数<br>(人) | 使用回数<br>(回) | 入場者数<br>(人) | 使用回数<br>(回) | 入場者数<br>(人) |
| メインホール           | 216         | 48,367      | 234         | 48,205      | 246         | 51,816      |
| ギャラリーなど<br>その他施設 | 1,249       | 32,484      | 1,291       | 33,892      | 1,372       | 42,581      |
| 合計               | 1,465       | 80,851      | 1,525       | 82,097      | 1,618       | 94,397      |

平成28年度 メインホール稼働率 64.9% 全施設稼働率 60.2%

平成29年度 メインホール稼働率 68.6% 全施設稼働率 61.8%

平成30年度 メインホール稼働率 71.7% 全施設稼働率 65.7%

＜自主事業の実施状況＞

平成28年度 45事業 5,683人

平成29年度 48事業 5,856人

平成30年度 40事業 9,620人

施設の維持管理として、給水系統の加圧給水設備の修繕を実施

## 評価（Check）

アルカスホールの指定管理者との定例会議等で積極的な意見交換を行い、連携することで、効果的かつ効率的な管理運営が図られた。

自主事業については、利用者のニーズを踏まえ、不定期で実施していた事業を定期的で開催することや、従前、市で実施していたピアノコンクールを、自主事業として開催するなど、多くの市民に音楽に親しむ機会を創出された。

また、隣接する大阪電気通信大学駅前キャンパスと合同で、より実践的な消防避難訓練を実施した。

| 評定                                    | 今後の方向性（Innovation）  |
|---------------------------------------|---|
| <b>A</b>                              | 自主事業については、より魅力ある事業を展開し、集客ができる様、指定管理者との連携を図って行く。また、市民や各種団体が気軽に利用できる施設となるよう、文化芸術音楽に関する情報提供を行い、文化振興の指導・支援に努めていく。 |
| A: 達成している<br>(90%以上)                  |   |
| B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)        |   |
| C: 一部達成であり、<br>課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
| D: 達成できていない<br>(50%未満)                |   |

## 成 30 年度における取組状況

| 構成取組② 文化施策振興事業  |    |               |               |               |               |                        |              |
|---|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 計画 (Plan)   |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p>「寝屋川文化芸術祭」を開催し、世代間交流も含め、様々な芸術を含めた市民の文化芸術活動を推進する。</p> <p>毎年実施している「寝屋川ミュージックデー」を引き続き開催し、市民の自主的な音楽文化の活動を支援する。</p> <p>青少年の健全育成のため、囲碁・将棋活動推進事業を引き続き実施する。</p>  |    |               |               |               |               |                        |              |
| 取組内容 (Do)   |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p><b>囲碁・将棋活動推進事業の実施</b></p> <p>7月から1月にかけて、囲碁・将棋の親子講座を各10講座開催し、2月にはその成果発表大会を開催した。囲碁・将棋を推進する事業を開催し、子どもたちが囲碁・将棋を通じて、礼儀礼節を重んじる社会マナーを身に付ける機会を提供した。</p> <p><b>寝屋川文化芸術祭の開催</b></p> <p>11月3日から4日にかけて、「文化芸術祭」を寝屋川市駅前から市民会館までの公共施設を活用して開催し、文化芸術体験事業、作品展示、手作り作品の出品・販売など、子どもから高齢者までが文化芸術に「みる」「きく」「ふれる」機会や、活動・発表・鑑賞の場を提供した。</p> |    |               |               |               |               |                        |              |
| 活動指標等   | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
| アルカスピアノコンクール入場者数  | 人  | 3,117         | 3,262         | 3,121         | 2,962         | —                      | —            |
| 囲碁・将棋活動推進事業への延参加者数  | 人  | —             | —             | —             | 992           | 785<br>【1,000】         | 1,020        |
| 寝屋川文化芸術祭への来場者数  | 人  | —             | —             | —             | —             | 21,998                 | 23,000       |

## 取組内容（活動状況）

＜文化施策振興事業の参加状況＞（人）

|                             |           | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|-----------------------------|-----------|----------|----------|----------|
| 市民たそがれコンサート                 |           | 1,105    | 900      | —        |
| 市民文化祭                       |           | 9,573    | 9,764    | —        |
| 寝屋川文化芸術祭                    |           | —        | —        | 21,998   |
| 寝屋川ミュージックデー                 |           | 2,302    | 2,225    | 2,208    |
| アルカスピアノ<br>コンクール            | 出場者数      | 680      | 633      | —        |
|                             | 入場者数      | 3,121    | 2,962    | —        |
| ミュージカル<br>「寝屋のはちかづき」        | 小学<br>4年生 | 1,984    | 1,907    | —        |
|                             | 一般        | 407      | 277      | —        |
| 囲碁・将棋活動推進事業                 |           | —        | 992      | 785      |
| 寝屋川音楽祭～クラシック in<br>ねやがわ～※隔年 |           | 944      | —        | —        |
| 市民ギャラリー利用者数                 |           | 28,248   | 26,285   | 28,706   |

- ・市民たそがれコンサート⇒さくらプロジェクトへ移管
- ・アルカスピアノコンクール、寝屋川音楽祭⇒指定管理者の自主事業として移管
- ・市民文化祭、ミュージカル「寝屋のはちかづき」⇒寝屋川文化芸術祭として再構築

## 評価（Check）

過年度実施していた事業を再構築し、新たに取り組んだ「寝屋川文化芸術祭」においては、寝屋川市駅前から市民会館までの各公共施設を活用しての催し物の開催や、小・中学生を中心とした「文化芸術体験事業」の実施、初本町公園やさわやかロードで「ねや市」を開催し、手作り作品の販売や食を通じての文化の発信などを行い、大幅な集客の増員を得ることができ、市民の文化芸術活動の活性化に寄与することができた。また、子どもたちが囲碁・将棋を通じて、礼儀礼節を重んじる社会マナーを身に付ける機会を提供することができた。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                      |  |
|----------|--------------------------------------|--|
| <b>A</b> | A:達成している<br>(90%以上)                  | <p>今後は、文化に関わる後継者の育成や各種団体の体制の在り方を視野に入れた事業を検討しながら、市民の活動・発表・鑑賞機会の充実を図るとともに、市にとって新たな文化の振興の礎となるものを見出していく。</p> |
|          | B:おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)        |  |
|          | C:一部達成であり、<br>課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |  |
|          | D:達成できていない<br>(50%未満)                |  |

## 教育大綱重点取組の総合評価

|   |            |   |          |
|---|------------|---|----------|
| ①アルカスホール管理  | A          | ⑨   |          |
| ②文化施策振興事業   | A          | ⑩   |          |
| ③   |            | ⑪   |          |
| ④   |            | ⑫   |          |
| ⑤   |            | ⑬   |          |
| ⑥   |            | ⑭   |          |
| ⑦   |            | ⑮   |          |
| ⑧   |            | ⑯   |          |
| 上記については、重点取組内の構成取組における評<br>定を記入し、評定平均を計算。<br><b>評定点数</b><br><u>A = 5、B = 3、C = 2、D = 1</u>  |            | <b>総合評価基準</b><br>A：取組評価平均 4.0 以上<br>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br>D：取組評価平均 1.5 未満 |          |
| <b>評定平均</b>   | <b>5.0</b> | <b>総合評価</b>   | <b>A</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>  |            |   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルカスホール管理について、他の自治体ではイベント等を自主事業にしたことによって、開催されるイベント等が衰退していった事例もあるので留意していただきたい。</li> <li>・ 学校や家庭の場においても文化振興を担えるように取り組むことができれば、より裾野の広い文化振興施策の進展と文化の伝承・発展が期待できると考える。</li> <li>・ 施策を発展させていくには、寝屋川市の歴史・文化・芸術の特徴を市民の方が理解し、関わりを持つことが必要であり、市民の関わりが増えれば、寝屋川市の文化等をより広く発信することができると思う。</li> </ul>   |            |   |          |
| <b>総合評価</b>   |            |   |          |
| <p>アルカスホールにおいては、不定期で行っていた自主事業を定期的を実施することや、従前市で実施していたピアノコンクールを自主事業として開催するなど、積極的に自主事業を展開された。</p> <p>寝屋川文化芸術祭においては、寝屋川市駅前から市民会館までの各公共施設を活用し、市民に文化芸術に「みる」「きく」「ふれる」機会を提供することや、活動・発表・鑑賞の機会の充実を図ることにより、子どもから高齢者と幅広い世代が文化芸術に触れることができた。また、囲碁・将棋を通じて子どもたちに対する礼儀礼節や、青少年の健全育成に寄与することができた。</p> <p>今後は、このような事業を展開していく中で、文化芸術に関する各種団体などを育成・支援するなど、市民が自主的に文化活動を行うための環境づくりの充実に努めていく。</p> |            |   |          |



## 9 スポーツ活動の振興

|                 |                  |
|-----------------|------------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>スポーツ活動の振興</b> |
|-----------------|------------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|           |           |              |
|-----------|-----------|--------------|
| ①生涯スポーツ事業 | ②競技スポーツ事業 | ③市民体育館管理運営事業 |
|           |           |              |
|           |           |              |
|           |           |              |

### 平成 30 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 30 年度 |
| 事業費     | 千円 | 114,428  |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～令和元年度)

誰もがそれぞれのライフスタイルや目的に合わせ、生涯にわたり、スポーツに親しめる環境の充実を図るとともに、競技スポーツの普及、競技力向上を目指した取組を推進する。

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～令和元年度)

生涯スポーツへの参加機会の充実に努めるとともに、より高いレベルの競技者の育成を目指し、競技スポーツの振興を図る。  
また、利用者が安全で快適に利用できるよう、市民体育館の整備・充実に努めるとともに、市民ニーズに応じ、施設の利活用を図る。

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                                    | 単位 | 平成 30 年度 |         |   |
|--|----|----------|---------|---|
|  |    | 目標値      | 実績値     | 達成度コメント   |
| <b>各種スポーツ事業の参加者数</b><br>(エンジョイフェスタを除く) | 人  | 27,900   | 37,726  | 新たに子どもに校庭を利用した安全な水遊びを提供するため、「ねやがわプールの」を開催する等、市民にスポーツ活動の場の提供に努め、目標値を大幅に達成できた。                  |
| <b>市民体育館の延利用者数</b>                     | 人  | 187,840  | 185,520 | 目標値は届かなかったが、4月当初の卓球室天井崩落事故、大阪府北部地震や台風、また卓球室の床改修工事の施工もあった中、早急に対策を講じ、また新規事業も実施する等適切な管理運営に努めていた。 |

## 平成 30 年度における取組状況

| 構成取組① 生涯スポーツ事業  |    |               |               |               |               |                        |              |
|---|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 計画 (Plan)   |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p>各種スポーツ事業の円滑な実施に向け、実行委員会と連携を図りながら、より多くの市民が参加できるように広報誌やホームページを活用した PR 活動に努める。またスポーツリーダーズバンクを活用しながら、各種スポーツ教室等を実施し、市民が気軽にスポーツに親しむ機会の提供に努める。</p>  |    |               |               |               |               |                        |              |
| 取組内容 (Do)   |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p><b>寝屋川ハーフマラソンへの支援</b></p> <p>6月に寝屋川ハーフマラソンの実行委員会を立ち上げ、9月1日から募集要項を配布しランナー募集、警察協議、沿道への説明、ボランティア説明会等、実行委員会で協議し、円滑にハーフマラソンを実施することができた。また、平成30年度からスポーツ振興くじの補助を受けることとなった為、事業決算等にも留意しつつ事務の遂行を行った。平成31年2月24日に全国から5,680人の参加を得て、開催することができた。(ボランティア数1,421人)</p> |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p><b>エンジョイフェスタ in ねやがわの開催</b></p> <p>6月にエンジョイフェスタ in ねやがわの実行委員会を立ち上げ、新たな種目として「駅伝」にも取り組むため、何度も現地で実行委員と協議を行った。また本事業が、秋のイベントであることに着眼し、「ハロウィン」をテーマにした企画の検討も行った。前年度は雨天の為に中止となったが、晴天にも恵まれ、予定していたプログラムも全て成功裏に終了することができた。</p>                                  |    |               |               |               |               |                        |              |
| <p><b>ねやがわプールの開催</b></p> <p>夏休みの子どもたちに、小学校の校庭を利用した水遊び場を提供し、夏の思い出づくりに寄与することを目的に、平成30年度から実施した。酷暑にも関わらず、看護師配置や待機場所へのミストやテントの設置等、熱中症対策を講じる中大きな事故もなく、多くの児童に安全な水遊び場の提供ができた。</p> <p>未就学児（3歳以上）から小学6年生まで 5校2日間 計10日間開催</p>                                      |    |               |               |               |               |                        |              |
| 活動指標等   | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
| 寝屋川ハーフマラソン参加者数  | 人  | 5,569         | 5,898         | 5,646         | 5,711         | 5,680<br>【6,000】       | 6,000        |
| エンジョイフェスタ in ねやがわ参加者数   | 人  | 28,302        | 28,742        | 30,247        | 中止            | 30,408<br>【31,000】     | 31,200       |
| ねやがわプール参加者数   |    |               |               |               |               | 5,026                  | 7,200        |

## 取組内容（活動状況）

### 〈寝屋川ハーフマラソン参加者数〉

| 種目等                |             | H29 人数  | H30 人数  |
|--------------------|-------------|---------|---------|
| 健康マラソン(1.5 km)     | 小学低学年       | 225 人   | 213 人   |
|                    | ファミリー       | 500 人   | 562 人   |
| 健康マラソン(3 km)       | 小学高学年男女     | 268 人   | 281 人   |
|                    | 中学生男女       | 80 人    | 105 人   |
|                    | 一般男女        | 210 人   | 206 人   |
| クォーターマラソン          | 一般男女        | 789 人   | 758 人   |
|                    | 一般男女(50歳以上) | 336 人   | 346 人   |
| ハーフマラソン            | 一般男女        | 2,404 人 | 2,294 人 |
|                    | 一般男女(50歳以上) | 899 人   | 915 人   |
| 寝屋川ハーフマラソンランナー合計   |             | 5,711 人 | 5,680 人 |
| 寝屋川ハーフマラソンボランティア合計 |             | 1,400 人 | 1,421 人 |

### 〈エンジョイフェスタ in ねやがわ参加者数〉

|      | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|------|----------|----------|----------|----------|
| 参加者数 | 28,742 人 | 30,247 人 | 雨天中止     | 30,408 人 |

### 〈ねやがわプールの参加者数〉

| 南小      | 宇谷小   | 西小      | 中央小     | 田井小     | 合計      |
|---------|-------|---------|---------|---------|---------|
| 1,005 人 | 879 人 | 1,007 人 | 1,074 人 | 1,061 人 | 5,026 人 |

## 評価（Check）

寝屋川ハーフマラソンは、第7回目となるが全国から多くのランナーが「寝屋川の坂」を目指して、参加していただき、また沿道にも多くの市民の声援にも支えられ、素晴らしい大会を開催することができた。

また、エンジョイフェスタ in ねやがわにおいては、新たに「ミニ駅伝」への取組も進め、会場が声援に包まれ、また遊びのコーナーやアトラクションにも子どもたちやファミリーが多く参加され、事故もなく成功裏に終了することができた。ねやがわプールの参加者数については、熱中症に1人もならず、子どもたちの夏の思い出づくりに寄与することができた。

| 評定       | 今後の方向性（Innovation）  |
|----------|---|
| <b>A</b> | <p>A: 達成している (90%以上)</p> <p>B: おおむね達成している (70%以上 90%未満)</p> <p>C: 一部達成であり、課題が残る (50%以上 70%未満)</p> <p>D: 達成できていない (50%未満)</p>  |
|          | <p>寝屋川ハーフマラソンにおいては、平成30年度からスポーツ振興くじの助成を受けることができたため、市の補助金も増額する中、警備員の増員等、安全対策の充実を図ることができた。また第7回を迎え、本市の冬の風物詩にもなりつつあるイベントであり、実行委員会だけでなく、市及び教育委員会も主催として新たに事業を展開していく。</p> <p>ねやがわプールの参加者数については、管理運営に関し、より効果的・効率的な方法を検討し、子どもたちが喜ぶ夏のイベントを目指す。</p> |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組② 競技スポーツ事業

#### 計画 (Plan)

競技力向上を目指すべく、市民体育大会への参加を市民に情報提供するとともに、その勝者を寝屋川市の代表として、北河内総合体育大会や大阪府総合体育大会等へ派遣することで、本市の競技スポーツの振興につなげていく。

また平成 29 年度以降の更なる競技スポーツの振興施策を関係団体とも協議しながら進めていく。

#### 取組内容 (Do)

##### スポーツ実技指導教室の充実

市民を対象に、スポーツ振興連盟加盟団体によるスポーツ種目別講習会、及びスポーツインストラクター養成のための講習会を開催し、高いスポーツ技術の習得並びに、正しいスポーツの指導が市域において実践されるように、競技力の向上に努めることができた。(24 種目 1,136 人)

##### 市民体育大会及び北河内・府等大会の開催

競技スポーツの普及を図るため、「寝屋川市民体育大会」の 20 種目 22 競技において、市民体育館や淀川河川グラウンド等を会場に開催することができた。

また、平成 30 年度から寝屋川市民体育大会成績優秀者を派遣する「北河内地区総合体育大会」や「大阪府総合体育大会」等の参加者に、市の名誉を背負って大会に出場してもらうために、市名の入ったユニフォームを提供し、競技力の向上に努めることができた。

| 活動指標等           | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(実績値) | 30 年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|-----------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|--------------|
| 寝屋川市民体育大会参加者数   | 人  | 6,442          | 6,747          | 6,376          | 6,610          | 6,248<br>【7,500】        | 7,800        |
| 北河内・府等体育大会等参加者数 | 人  | 545            | 607            | 606            | 647            | 640<br>【750】            | 800          |
|                 |    |                |                |                |                |                         |              |

## 取組内容（活動状況）

〈寝屋川市民体育大会参加者数〉

| 種目      | 参加者数  | 種目        | 参加者数  | 種目     | 参加者数    |
|---------|-------|-----------|-------|--------|---------|
| サッカー    | 141 人 | グラウンド・ゴルフ | 226 人 | 少林寺拳法  | 62 人    |
| テニス     | 112 人 | バスケットボール  | 190 人 | 剣道     | 51 人    |
| インディアカ  | 61 人  | 卓球        | 136 人 | マラソン   | 99 人    |
| バウンドテニス | 114 人 | 陸上競技      | 287 人 | 駅伝競走   | 190 人   |
| バレーボール  | 376 人 | 柔道        | 170 人 | ソフトボール | 400 人   |
| ゲートボール  | 30 人  | ソフトテニス    | 16 人  | 軟式野球   | 2,209 人 |
| ソフトバレー  | 164 人 | バドミントン    | 66 人  | 空手道    | 330 人   |
| レスリング   | 576 人 | 総合開会式     | 242 人 | 参加者合計  | 6,248 人 |

〈北河内・府等体育大会等参加者数〉

| 事業名            | 参加者数  |
|----------------|-------|
| 大阪府総合体育大会      | 184 人 |
| 大阪府市町村対抗駅伝競走大会 | 36 人  |
| 北河内地区総合体育大会    | 369 人 |
| 北河内地区駅伝競走大会    | 39 人  |
| 三島・北河内地区対抗柔道大会 | 12 人  |
| 北河内・府等参加者合計    | 640 人 |

## 評価（Check）

北河内・府等体育大会参加者については、市の予選会を経て、上部大会に参加するが、平成 30 年度から市名の入ったユニフォームを貸与し、モチベーションが高まった結果、北河内総合体育大会において優勝することができた。また今年度については、地震や台風の被害で開催場所の確保や個人的な理由で特に、屋内スポーツに関しては大会を中止せざるを得ない状況に陥っており、競技スポーツ参加者全体が減少する傾向が見られた。

| 評定       |                                  | 今後の方向性（Innovation）  |
|----------|----------------------------------|---|
| <b>A</b> | A:達成している<br>(90%以上)              | 市民の代表として派遣する「北河内・大阪府総合体育大会」の参加者に対して、大会規定上、市名の入ったユニフォームの着用が義務付けられており、今後も継続的にユニフォーム等の貸与を続けていくとともに、競技スポーツ参加者を増加させる施策の検討を行う必要がある。 |
|          | B:おおむね達成している<br>(70%以上 90%未満)    |   |
|          | C:一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
|          | D:達成できていない<br>(50%未満)            |   |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組③ 市民体育館管理運営事業

#### 計画 (Plan)

トレーニング室の利用頻度の高いランニングマシンを購入し、利用者の利便性の向上を図る。

また必要に応じて、指定管理者と協議する中で、安全安心なスポーツ環境の整備に努める。

#### 取組内容 (Do)

##### 市民体育館改修工事の実施

市民体育館の卓球室については、経年劣化により床にひずみが生じてきており、床張替工事を施工した。また4月当初に同室の天井の一部が崩落した為、利用者の安全性を考慮する中、早急に天井全面の張替工事も施工した。また指定管理者と連携し、ロビーの電灯をLED化するなど、安全安心なスポーツ環境の整備に努めた。

トレーニング室等の備品に関しては、ラットプルマシンと血圧計を購入し、利用者の利便性向上に努めた。

| 活動指標等        | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|--------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 市民体育館大体育室利用率 | %  | 83.6          | 84.2          | 84.9          | 83.4          | 89.2<br>【89.2】         | 89.7         |
|              |    |               |               |               |               |                        |              |
|              |    |               |               |               |               |                        |              |

## 取組内容（活動状況）

〈市民体育館利用者数〉  
（利用状況）

| 室名      | 団体      |           | 個人       | 合計        | 利用率<br>(%) |
|---------|---------|-----------|----------|-----------|------------|
|         | 件数      | 利用者数      |          |           |            |
| 大体育室    | 1,518 件 | 55,210 人  | 1,474 人  | 53,684 人  | 86.2       |
| 小体育室    | 754 件   | 14,752 人  | 4,610 人  | 19,362 人  | 85.8       |
| トレーニング室 | —       | —         | 37,884 人 | 37,884 人  | 100        |
| 卓球室     | 685 件   | 7,018 人   | 11,190 人 | 18,208 人  | 99.3       |
| 剣道場     | 961 件   | 30,071 人  | 59 人     | 30,130 人  | 76.4       |
| 柔道場     | 588 件   | 16,134 人  | 246 人    | 16,380 人  | 58.6       |
| 会議室     | 318 件   | 8,445 人   | —        | 8,445 人   | 29.3       |
| 研修室     | 143 件   | 1,427 人   | —        | 1,427 人   | 29.4       |
| 合計      | 4,967 件 | 130,057 人 | 55,463 人 | 185,520 人 | 71.7       |

（個人利用内訳）

| 区分              | 利用人数     | 割合    |
|-----------------|----------|-------|
| 一般              | 17,313 人 | 31.2% |
| 幼児・児童・生徒        | 3,255 人  | 5.9%  |
| 高齢者(60歳以上70歳未満) | 9,760 人  | 17.6% |
| 無料(70歳以上)       | 25,135 人 | 45.3% |
| 合計              | 55,463 人 | 100%  |

## 評価（Check）

利用者ニーズ及び利用者の安全を第一に考え、卓球室の床張替工事や天井張替工事を施工すると共に、利用者が集うロビー部の電灯のLED化を指定管理者と連携しながら、進めることができた。平成30年度に関しては、卓球室の工事に伴い、また地震や台風の影響を受けて、市民体育館利用者数に関しては、減少となっているが、そのような中でも指定管理者が、新たにフットサル大会やカローリング講習会無料スポーツ体験教室等を実施し、利用者獲得に努めたことは非常に評価できる内容であった。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                  |  |
|----------|----------------------------------|--|
| <b>A</b> | A: 達成している<br>(90%以上)             | <p>市民体育館については、昭和49年に建設されており、毎年の維持修繕に加え、大規模な工事の施工も必要となってきたおり、今後の個別計画に基づき、年次的な環境整備を図っていく必要がある。また指定管理者が健全な管理運営に努めることができるように、高齢者の利用等に関して、継続的に検討をする必要がある。</p> <p>今後は、高齢者（無料）の利用者が年々増加していることは良いことであるが、一般利用者がスポーツ活動をする機会を減らしている現状等も踏まえ、課題解決に向けて検討する必要がある。</p> |
|          | B: おおむね達成している<br>(70%以上90%未満)    |  |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上70%未満) |  |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)           |  |



## 教育大綱重点取組の総合評価

|   |            |   |          |
|---|------------|---|----------|
| ① 生涯スポーツ事業  | A          | ⑨   |          |
| ② 競技スポーツ事業  | A          | ⑩   |          |
| ③ 市民体育館管理運営事業   | A          | ⑪   |          |
| ④   |            | ⑫   |          |
| ⑤   |            | ⑬   |          |
| ⑥   |            | ⑭   |          |
| ⑦   |            | ⑮   |          |
| ⑧   |            | ⑯   |          |
| 上記については、重点取組内の構成取組における評<br>定を記入し、評定平均を計算。<br><b>評定点数</b><br><u>A = 5、B = 3、C = 2、D = 1</u>  |            | <b>総合評価基準</b><br>A：取組評価平均 4.0 以上<br>B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br>C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br>D：取組評価平均 1.5 未満 |          |
| <b>評定平均</b>   | <b>5.0</b> | <b>総合評価</b>   | <b>A</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>  |            |   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯スポーツにおいては、高齢化が進む中、自分のことは自分でできるという健康寿命の観点を持ちながら取り組んでいくことが重要である。</li> <li>競技スポーツでは、近年、頭脳スポーツ（マインドスポーツ）がクローズアップされる機会も多い。この新しい分野にも寝屋川市が先駆けて取り組んでいくことで、寝屋川市の特色を発信できると考える。</li> <li>来年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるが、スポーツ分野において、障害がある方への寝屋川市流の取組を検討し、展開することにより、全ての市民を対象としたスポーツ振興が図れるものとする。</li> </ul>  |            |   |          |
| <b>総合評価</b>   |            |   |          |
| <p>生涯スポーツの普及推進の視点より、新たに夏休みの子どもたちに水に親しむ場を提供するため、「ねやがわプールの」を開催する等、積極的に事業に取り組み、大幅に実績値を増加することができた。また競技スポーツにおいては、代表選手派遣事業において選手に市名の入ったユニフォームを貸与することでモチベーションが上がり、北河内総合体育大会で総合優勝を果たすことができた。</p> <p>スポーツ環境の整備に関しては、特に、市民体育館においては指定管理者と連携しながら、天災等に遭遇するも、早急な対応することで利用者への支障も最小限に抑えることができ、スポーツ活動の場の提供に努めることができた。</p> <p>今後は、更なるスポーツ振興を目指すべく、特に成人のスポーツ実施率を向上させるための施策の検討、並びに市民体育館を含めた社会体育施設において利用者が安全に快適に活動できるよう引き続き、環境整備にも努めていく。</p> |            |   |          |

## 10 学習活動の充実

|                 |                |
|-----------------|----------------|
| <b>教育大綱重点取組</b> | <b>学習活動の充実</b> |
|-----------------|----------------|

### 教育大綱重点取組を推進する体制(構成取組)

|                    |              |              |
|--------------------|--------------|--------------|
| ①日本語よみかき促進事業       | ②成人教育講座事業    | ③まちのせんせい活用事業 |
| ④生涯学習推進調整事務        | ⑤学び館管理事業     | ⑥利用者サービス事業   |
| ⑦ICT化推進事業          | ⑧子ども読書活動推進事業 | ⑨読書普及啓発事業    |
| ⑩障害者・高齢者・多文化サービス事業 |              |              |

### 平成 30 年度決算(見込み)

|         |    |          |
|---------|----|----------|
| 取組に係る費用 | 単位 | 平成 30 年度 |
| 事業費     | 千円 | 110,415  |

### 教育大綱実施計画における取組概要(平成 27 年度～令和元年度)

誰もが、いつでも、どこでも学習活動に取り組むことができる学習の場を整備するとともに、幅広い学習情報を提供し、学習機会の確保に取り組む。

また、地域人材の養成や市民が学び得た成果を通じて地域に還元していく取組を進める。

### 教育大綱実施計画における取組の方向性(目標)(平成 27 年度～令和元年度)

施設の老朽化対策を進めることで、市民が安全で快適な学習活動ができる場所の確保を図るとともに、情報誌やホームページなどの媒体を一層活用し、学習情報と学習機会の充実を図る。

また、まちのせんせいの活用による人材の養成やニーズに応じた生涯学習の充実及び読書活動の推進により、市民の学習活動意欲の活性化を図る。

### 成果・効果等を表す取組指標

| 指標名                     | 単位       | 平成 30 年度   |            |   |
|-------------------------|----------|------------|------------|---|
|                         |          | 目標値        | 実績値        | 達成度コメント   |
| <b>市民一人当たりの生涯学習活動回数</b> | <b>回</b> | <b>8.1</b> | <b>8.3</b> | 新規事業である文化スポーツ関連事業の参加者数等により、生涯学習活動回数総数は年々着実な伸びを見せており、ニーズを捉えた事業推進が図れている。今後も生涯学習活動がより活性化するよう市民への働き掛けを行う。 |
|                         |          |            |            |   |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組① 日本語よみかき促進事業

#### 計画 (Plan)

学習の指導や運営体制を確立していくため、事務局とコーディネーター、スタッフとの指導者全体会議やスキルアップのための指導者研修を行う。

#### 取組内容 (Do)

##### 日本語よみかき学級の実施

日本語の習得を必要とする市民に、週に1回、昼と夜の部（年間88回）に学習する機会を設け、本市で生活・就労等する上で、よみかき、会話でコミュニケーションが円滑に図れるよう取り組んだほか、課外学習や文化交流会、年末お楽しみ会の開催や北河内識字・日本語交流会に参加した。

また、指導者のスキルアップや連携を密にするために、指導者全体会議を年に6回、指導者研修会を3回実施した。

| 活動指標等  | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|--------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 延べ受講者数 | 人  | 693           | 607           | 643           | 489           | 496<br>【900】           | 510          |
|        |    |               |               |               |               |                        |              |
|        |    |               |               |               |               |                        |              |

## 取組内容（活動状況）

<平成 30 年度>

|        |             |        |             |
|--------|-------------|--------|-------------|
| 回数     | 昼・夜 各 44 回  | 受講者数   | 45 人（10 か国） |
| 延べ受講者数 | 496 人（88 回） | 延べ保育者数 | 32 人（19 回）  |
| 課外学習   | 奈良公園        |        | 24 人        |
| 北河内交流会 | 門真市立総合体育館   |        | 19 人        |

<国別登録者数>

|        | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|--------|----------|----------|----------|
| 中国     | 16 人     | 17 人     | 11 人     |
| フィリピン  | 3 人      | 2 人      | 2 人      |
| タイ     | 5 人      | 4 人      | 2 人      |
| 韓国     | 1 人      | 0 人      | 0 人      |
| インドネシア | 14 人     | 9 人      | 6 人      |
| ブラジル   | 1 人      | 0 人      | 0 人      |
| ベトナム   | 2 人      | 12 人     | 18 人     |
| スリランカ  | 1 人      | 1 人      | 0 人      |
| ペルー    | 2 人      | 2 人      | 2 人      |
| トルコ    | 1 人      | 1 人      | 0 人      |
| 台湾     | 2 人      | 1 人      | 1 人      |
| 日本     | 1 人      | 1 人      | 1 人      |
| ドイツ    | 1 人      | 0 人      | 0 人      |
| メキシコ   | 0 人      | 1 人      | 0 人      |
| コロンビア  | 1 人      | 1 人      | 0 人      |
| ネパール   | 1 人      | 0 人      | 1 人      |
| その他    | 0 人      | 0 人      | 1 人      |
| 合計     | 52 人     | 52 人     | 45 人     |

## 評価（Check）

受講者の学習状況に応じて、日本語入門テキストなど各種教材を活用した指導を行い、生活する上で、言葉やよみかきでコミュニケーションが円滑に図れるように取り組めたが、短期就労者への対応に課題が残った。よみかき学級の運営体制の確立のために指導者全体会議を、指導者のスキルアップのために指導者研修会を行った。

| 評定                                    | 今後の方向性（Innovation）  |
|---------------------------------------|---|
| <b>B</b>                              | <p>企業の短期的な就労実習生や研修生の学習者は入れ替わりが多く、日本語よみかきの短期習得が難しいため、個人のレベルや在留期間に応じ、目的を絞り込んだスポット的な学習指導方法や教室運営を確立していく必要がある。そのため、コーディネーター、スタッフとの会議や外部講師による指導者のスキルアップ研修を継続して行っていく。また、今後増加が予想される外国人受入への対応については、関係機関と連携し、動向を注視する中で検討していく。</p> |
| A: 達成している<br>(90%以上)                  |   |
| B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)        |   |
| C: 一部達成であり、<br>課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
| D: 達成できていない<br>(50%未満)                |   |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組② 成人教育講座事業

#### 計画 (Plan)

市民ニーズに対応した講座の開催を目指し、アプローチの仕方や働きかけに工夫しながら、各コミュニティセンターやふらっとねやがわとの連携を密に図っていく。

#### 取組内容 (Do)

##### 市内公共施設での共同実施

市立校園 PTA 協議会やコミュニティセンター運営協議会等と共催し、各地域の市民ニーズを反映した様々な学習の機会を提供した。

| 活動指標等  | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(実績値) | 30 年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|--------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|--------------|
| 成人教育講座 | 人  | 840            | 766            | 862            | 830            | 738<br>【960】            | 880          |
|        |    |                |                |                |                |                         |              |
|        |    |                |                |                |                |                         |              |

## 取組内容（活動状況）

＜平成 30 年度＞

| テーマ                                   | 開催日   | 講師     | 会場(参加者数)              |
|---------------------------------------|---|--------|-----------------------|
| 盆踊り講習会                                | 平成 30 年 6 月 30 日(土)<br>平成 30 年 7 月 7 日(土)   | 中本 美智子 | 南コミセン<br>(45 人・39 人)  |
| おもしろ京都再発見                             | 平成 30 年 9 月 10 日(月)                         | 吉岡 一秋  | 南コミセン (28 人)          |
| ギター演奏講習会                              | 平成 30 年 9 月 20 日(木)                         | 古庄 英明  | 西コミセン (27 人)          |
| 笑いヨガ                                  | 平成 30 年 9 月 29 日(土)                         | 林 小絵   | 西南コミセン(17 人)          |
| 健康体操                                  | 平成 30 年 10 月 11 日(木)                        | 井上 利光  | 西北コミセン(43 人)          |
| 料理教室                                  | 平成 30 年 10 月 29 日(月)                        | 山本 耕司  | 西南コミセン(13 人)          |
| 誰でもできる<br>カローリング講習会                   | 平成 30 年 11 月 12 日(月)<br>平成 31 年 3 月 11 日(月) | 土居 正博  | 東コミセン<br>(29 人・25 人)  |
| JK ビジネスにかか<br>わる少女たち                  | 平成 30 年 11 月 17 日(土)                        | 野澤 征子  | ふらっとねやがわ<br>(16 人)    |
| 初心者のパン作り<br>講習会                       | 平成 31 年 1 月 18 日(金)<br>平成 31 年 1 月 25 日(金)  | 森脇 郁子  | 西南コミセン<br>(12 人・10 人) |
| 折り紙教室                                 | 平成 31 年 1 月 19 日(土)                         | 駒井 靖彦  | 西コミセン (37 人)          |
| 手作りネックレス教室                            | 平成 31 年 1 月 24 日(木)                         | 中司 恵子  | 東北コミセン(20 人)          |
| 京都“彩”発見                               | 平成 31 年 2 月 4 日(月)                          | 吉岡 一秋  | 東北コミセン(30 人)          |
| ピラティス健康教室                             | 平成 31 年 2 月 5 日(火)                          | 上村 由美子 | 東北コミセン(24 人)          |
| パンづくり講習会                              | 平成 31 年 2 月 16 日(土)                         | 池田 陽子  | 南コミセン (16 人)          |
| 映画「ビザンチウム」主人公が語る子ども<br>の能力を引き出すためのあり方 | 平成 31 年 2 月 16 日(土)                         | 小林 さやか | アルカスホール<br>(307 人)    |

6 コミセン 16 講座と、市 PTA 1 講座、ふらっとねやがわ 1 講座の 18 講座実施  
(参加者数合計 738 人)

## 評価（Check）

各講座における参加者数は若干減少したものの、各コミュニティセンターやふらっとねやがわ、市 PTA 協議会と共催し、市民ニーズに対応した講座を開催することができた。

また、講座の受講者向けのアンケートにおいても、今後の継続と発展の期待が大きい。

| 評定       |                                      | 今後の方向性（Innovation）   |
|----------|--------------------------------------|--|
| <b>A</b> | A:達成している<br>(90%以上)                  | 講座内容や周知方法等について、更なる工夫を重ね、より市民ニーズに対応した事業となるよう、各コミュニティセンターやふらっとねやがわ等と一層の連携を図っていく。 |
|          | B:おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)        |  |
|          | C:一部達成であり、<br>課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |  |
|          | D:達成できていない<br>(50%未満)                |  |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組③ まちのせんせい活用事業

#### 計画 (Plan)

未派遣のまちのせんせいの活用について、まちのせんせい自身で講座を企画したり、PR イベントを実施するなどし、利用者に向けて周知啓発を努める。

#### 取組内容 (Do)

##### まちのせんせい体験講習会実施

保育所・幼稚園・小学校・中学校・福祉施設等へ積極的に活用してもらうため、自主企画講座や社会教育施設（エスポアール・学び館・中央公民館）のまつり等でまちのせんせいコーナーを設け PR を図った。

| 活動指標等         | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(実績値) | 30 年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|---------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|--------------|
| まちのせんせい登録者数   | 人  | 116            | 128            | 108            | 121            | 131<br>【140】            | 135          |
| まちのせんせい派遣依頼件数 | 件  | 116            | 122            | 136            | 171            | 180<br>【180】            | 190          |
|               |    |                |                |                |                |                         |              |



## 取組内容（活動状況）

### < 事業実績 >

|                 | 項目   | 平成 28 年度                       | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|-----------------|--|--------------------------------|----------|----------|
| まちのせんせい<br>活用事業 | 登録者数   | 108 人                          | 121 人    | 131 人    |
|                 | 派遣依頼件数   | 136 件                          | 171 件    | 180 件    |
|                 | 派遣人数   | 145 人                          | 199 人    | 191 人    |
|                 | 主な指導内容   | マジック・体操・ハンドベル・アロマテラピー・バルーンアート等 |          |          |
| 主な派遣先           | 子ども会、自治会、老人会、保育所、幼稚園、幼児サークル、小学校、PTA、放課後子供教室、公共施設、高齢者施設 |                                |          |          |

## 評価（Check）

利用者向けの周知活動として、自主企画講座の実施や社会教育施設（エスポアール・学び館・中央公民館）のまつり等でまちのせんせいコーナーを設け、PRを図り、利用者から好評を得た。また、生涯学習情報誌に「まちのせんせい」の名簿等を掲載し、情報発信を行った。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                   |   |
|----------|-----------------------------------|---|
| <b>A</b> | A: 達成している<br>(90%以上)              | 未派遣のまちのせんせいの活用を充実させていくため、引き続き、自主企画講座や、各種イベントなどで実施してもらうなど、まちのせんせい自身のスキルアップや体験講習会を兼ねるような形で活性化を図っていく。<br>また、新たなまちのせんせいの人材の発掘が必要と考える。 |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |   |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)            |   |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組④ 生涯学習推進調整事務

#### 計画 (Plan)

発行時点での最新情報に留意しながら、市民の学習活動を促進するため、生涯学習情報誌の内容の充実を図る。

#### 取組内容 (Do)

##### 学習情報誌の発行

市民の生涯学習活動を支援するため、各種講座やイベントの行政情報、まちのせんせいの講師リストを提供する「講座・イベント編/講師案内編」、学習活動を行う団体やサークルの情報を提供する「団体・サークル編」の2種類の生涯学習情報誌（ねやがわ生涯学習あんない）を発行した。

| 活動指標等        | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|--------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 学習情報誌への掲載講座数 | 講座 | 726           | 702           | 701           | 700           | 699<br>【720】           | 710          |

#### 取組内容 (活動状況)

<生涯学習情報誌発行数・掲載情報数>

|       | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|-------|----------|----------|----------|
| 発行冊数  | 5,700 冊  | 5,900 冊  | 5,850 冊  |
| 掲載団体数 | 908 団体   | 914 団体   | 896 団体   |
| 掲載講座数 | 701 講座   | 700 講座   | 699 講座   |

#### 評価 (Check)

生涯学習情報誌を発行するとともに、その内容を市ホームページや市広報誌に掲載し、幅広い情報提供を図ることにより、市民の生涯学習を支援することができた。

| 評価  | 今後の方向性 (Innovation)  |
|---|--|
| <b>A</b><br>A: 達成している<br>(90%以上)<br>B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)<br>C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満)<br>D: 達成できていない<br>(50%未満) | 今後においても、最新情報に留意しながら、市民の学習活動を促進するため、生涯学習情報誌の内容の充実を図り、学習機会に関する情報を提供していく。 |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組⑤ 学び館管理事業

#### 計画 (Plan)

指定管理者と連携を密にし、利用者の満足度の向上や、市民ニーズに対応するため、新たな自主事業の企画・運営を展開し、利用率の向上につなげていく。

#### 取組内容 (Do)

##### 学び館の管理運営

世代間交流を推進するための効果的な自主事業を展開し、市民の自主学習・自主活動等に必要な場所を提供することができた。

| 活動指標等   | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|---------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 学び館利用者数 | 人  | —             | —             | 20,226        | 30,925        | 33,605<br>【32,892】     | 33,500       |
|         |    |               |               |               |               |                        |              |
|         |    |               |               |               |               |                        |              |

## 取組内容（活動状況）

＜学び館利用状況＞

|        |                         | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|--------|-------------------------|----------|----------|
| 生涯学習事業 | 青少年健全育成講座<br>(子ども向け講座)  | 5,820 人  | 6,433 人  |
|        | 青少年健全育成成人講座<br>(大人向け講座) | 2,424 人  | 1,861 人  |
|        | 世代間交流事業                 | 8,052 人  | 9,684 人  |
| 貸し館等   |                         | 14,639 人 | 15,627 人 |
| 合 計    |                         | 30,935 人 | 33,605 人 |

## 評価（Check）

前年度の実績や参加者向けアンケートの分析を踏まえ、新規事業の展開や既存事業の拡充を図った。また、指定管理者、施設管理担当者（東障害福祉センター）と定期的な会議をし、市民ニーズへの対応や効率的・効果的な管理運営に努めた。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                   |   |
|----------|-----------------------------------|---|
| <b>A</b> | A: 達成している<br>(90%以上)              | 引き続き、学び館の周知啓発や事業内容の情報発信を積極的に行い、多くの市民に利用してもらうよう努める。<br>また、施設の老朽化対策については、今後も施設管理者（東障害福祉センター）と意見交換を行い、計画的に修繕を実施し、施設の整備充実を図ることで、更なる利用率の向上につなげていく。 |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |   |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)            |   |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組⑥ 利用者サービス事業

#### 計画 (Plan)

図書館サービスの維持向上、専門性の継承を図るため、図書館運営の在り方を検討する。

施設及び備品の老朽化が著しい中央図書館の長寿命化及びリニューアルについて、時期・規模・レイアウト等を、今後の人口推計等の社会情勢を含め年次計画策定に向けて検討する。

#### 取組内容 (Do)

##### 中央図書館学習室リニューアル事業

中央図書館学習室（110 席）を学習の場として市民に提供した。

毎月第 1 金曜日を除く毎日開室。（6 月 18 日以降休室）

被災後は池の里交流センターにおいて学習室を設置し、学習の場として市民に提供した。

##### 東図書館リニューアル事業

東図書館において、安全で快適な読書環境を提供した。

毎月第 2 月曜日及び年末年始 6 日間を除く毎日開館。

なお、平成 30 年 6 月の大阪府北部地震の影響で中央図書館が休館になり、図書館サービスの低下を防ぐため教育研修センター跡にて臨時図書室、学習室の開室や図書館分室の開室日の拡大に向けて取組を進めた。

| 活動指標等    | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(実績値) | 30 年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|----------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|--------------|
| 貸出延べ利用者数 | 人  | 302,129        | 299,358        | 303,619        | 279,198        | 302,473<br>【303,800】    | 300,000      |
| 学習室利用者数  | 人  | —              | —              | 31,278         | 30,640         | 6,485<br>【32,500】       | 3,000        |
| 分室の貸し出し数 | 冊  | 150,474        | 154,554        | 145,571        | 135,630        | 131,865<br>【136,000】    | 163,000      |

## 取組内容（活動状況）

### 【図書館貸出冊数】

| 年度<br>館別 | H28         | H29         | 対前年比  | H30      | 対前年比   |
|----------|-------------|-------------|-------|----------|--------|
| 中央図書館    | 465, 185    | 440, 862    | 94.8% | 197, 738 | 44.9%  |
| 東図書館     | 170, 712    | 162, 450    | 95.2% | 233, 616 | 143.8% |
| 駅前図書館    | 372, 368    | 342, 108    | 91.9% | 396, 681 | 116%   |
| 全館(※)    | 1, 196, 871 | 1, 126, 419 | 94.1% | 977, 630 | 86.7%  |

(※)全館には、中央・東・駅前図書館のほかコミュニティセンター4分室・移動図書館を含む。

## 評価（Check）

平成30年の大阪府北部地震の被災により総合センター4階が立ち入り禁止となり、中央図書館休館中のため利用者サービスは減少している。そのため図書館サービスの低下を防ぐため教育研修センター跡にて臨時図書室を開室、分室のフルオープン、香里浄水場跡への移動図書館車の派遣等に取り組むことのできる限りのサービスの維持に努めることができた。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                   |   |
|----------|-----------------------------------|---|
| <b>C</b> | A: 達成している<br>(90%以上)              | <p>今後、総合センターの在り方や市全体の公共施設の在り方等を踏まえ図書館サービスの中核的施設として再構築も含め、これからの図書館の在り方について検討し、市民への図書館サービスの維持・向上を目指していく。</p> <p>また、貸出の方法等、あらゆる市民へ対応できるシステムづくりや利便性の向上についても検討を行う。</p> |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |   |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)            |   |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組⑦ ICT化推進事業

#### 計画 (Plan)

市民ニーズの多様化、ICT化等の社会情勢を踏まえ、更なる利用者の利便性の向上や図書館業務の効率化に向けてクラウド型図書館システムを導入する。  
WEB予約促進に向けて、更に周知を図る。

#### 取組内容 (Do)

##### 図書館システムの更新

平成 30 年 3 月に図書館情報システムを導入し、平成 30 年度に本格稼働し新たなクラウド型図書館情報システムを活用し、安定稼働や運用負荷の軽減、また、情報セキュリティの強化といった課題を抜本的に解消し、利用者の利便性の向上や、業務効率を維持向上に努めた。

利用者の利便性の向上と予約受付事務の軽減に効果が大きいWEB予約利用者拡大のため、図書館窓口やホームページで市民に周知を図った。

| 活動指標等          | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(実績値) | 30 年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|----------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|--------------|
| 貸出予約に占めるWeb予約率 | %  | 48.0           | 49.0           | 50.6           | —              | 53.0<br>【51.5】          | 53.5         |
| 個人貸出冊数         | 冊  | 1,199,387      | 1,173,725      | 1,168,832      | 1,093,535      | 962,145<br>【1,237,600】  | 990,000      |
|                |    |                |                |                |                |                         |              |

## 取組内容（活動状況）

### <WEB予約サービスの状況>

|            | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|------------|----------|----------|----------|
| 予約受付数（件）   | 212,206  | 206,019  | 208,823  |
| 内WEB予約数(件) | 107,344  | —        | 110,636  |

※平成 29 年度内 WEB 予約数はシステム入れ替えのため算出できない

### <個人貸出冊数>

（単位：冊）

|       | 平成 28 年度  | 平成 29 年度  | 平成 30 年度 |
|-------|-----------|-----------|----------|
| 中央図書館 | 465,185   | 440,862   | 187,612  |
| 東図書館  | 170,712   | 162,450   | 233,600  |
| 駅前図書館 | 372,368   | 342,108   | 396,679  |
| 分 室   | 145,571   | 135,630   | 131,865  |
| 移動図書館 | 14,996    | 12,485    | 12,389   |
| 総 計   | 1,168,832 | 1,093,535 | 962,145  |

分室は西北・南・東北・西南 4 分室の合計冊

## 評価（Check）

平成 30 年 3 月からクラウド型システムを導入したことにより、6 月の大阪府北部地震にも図書館システムは問題なく稼働する等、危機管理上の優れた特徴が表れた。また、これにより予約受付事務の軽減等が図られた。

| 評価  | 今後の方向性（Innovation）   |
|---|--|
| <b>A</b><br>A: 達成している<br>(90%以上)<br>B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)<br>C: 一部達成であり、<br>課題が残る<br>(50%以上 70%未満)<br>D: 達成できていない<br>(50%未満) | 利用者の利便性の向上や図書館業務の効率化・インターネットによる読書推進機能の充実、セキュリティ強化を図る。<br>また、WEB予約促進に向けて、ホームページ等に掲載し、更に周知を図る。 |



## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組⑧ 子ども読書活動推進事業

#### 計画 (Plan)

第2次子ども読書活動推進計画に基づき、更なる子どもの読書活動推進のため、事業を実施していく。

特に、学校教育分野への連携も深め、学校司書研修等の支援を通じて児童生徒の読書活動を推進する。

#### 取組内容 (Do)

##### 第2次寝屋川市子ども読書活動推進計画の策定及び計画に基づく施策の実施

第2次子ども読書活動推進計画（平成28年5月策定）に基づき、学校司書研修を中央図書館で行った。

##### 子ども読書活動施策の実施

子ども読書活動推進計画（「第1次計画」）から継続している子ども読書活動推進施策を引き続き実施した。

##### 読書通帳の配布

子どもが読書に関心を持つ切っ掛けづくりとして、読書通帳を作成、配布した。

##### オーサービジット講演会(子ども読書活動)

絵本作家の谷口智則氏を招いて講演会「ライブペインティング 親子で楽しむ絵本の世界」を開催し、市民の読書活動の普及及び意欲の向上に努めた。

| 活動指標等                    | 単位 | 26年度<br>(実績値) | 27年度<br>(実績値) | 28年度<br>(実績値) | 29年度<br>(実績値) | 30年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|--------------------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|--------------|
| 児童書の貸出冊数                 | 冊  | 380,387       | 385,409       | 390,721       | 384,469       | 327,953<br>【398,400】   | 334,000      |
| 読書通帳配布冊数（小中希望者）          | 冊  | —             | —             | —             | 2,273         | 3,676<br>【3,600】       | 4,000        |
| オーサービジット講演会(子ども読書活動)参加者数 | 人  | —             | —             | —             | —             | 45                     | 50           |

## 取組内容（活動状況）

### <子ども読書活動推進事業実績>

| 事業名                       | 開催回数 | 参加者数/贈呈数 |
|---------------------------|------|----------|
| 子ども読書活動推進啓発講座<br>(4回×3講座) | 12回  | 延べ265人   |
| 絵本で子育てにこにこ赤ちゃん            | 50回  | 1,038人   |
| 保育所でのブックスタート              | 94回  | 6,990人   |
| 絵本を贈ろう事業(4か月児)            | 30回  | 1,562冊   |

### <団体貸出の貸出冊数>

|          | 平成28年度  | 平成29年度  | 平成30年度  |
|----------|---------|---------|---------|
| 貸出冊数     | 38,039冊 | 32,884冊 | 15,485冊 |
| 学校園所     | 42校園所   | 46校園所   | 14校園所   |
| 地域文庫の団体数 | 1団体     | 1団体     | 0団体     |
| その他の団体数  | 50団体    | 51団体    | 19団体    |

## 評価（Check）

第2次計画に基づく事業を引き続き実施するとともに、学校司書研修や読書通帳の配布を実施し、子ども読書活動推進への取組ができた。

6月の大阪府北部地震以降、中央図書館休館により、同館での読書推進行事等は分館等の他会場に切り替え、実施することはできたが、団体貸出しについては、休刊による影響が生じ、貸出冊数は減少した。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                   |  |
|----------|-----------------------------------|--|
| <b>B</b> | A: 達成している<br>(90%以上)              | 第2次計画に基づき、就学前の子どもの施策は継続実施するとともに、学校司書とも連携をとり読書通帳の配布やオーサービジット事業を行い、学齢期の子どもの読書活動の推進を図る。 |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |  |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |  |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)            |  |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組⑨ 読書普及啓発事業

#### 計画 (Plan)

ビジネス支援講座等、市民の読書活動の推進に努める。

#### 取組内容 (Do)

##### 読書普及啓発イベント実施

市民の読書活動推進のため、図書館で講演会等を企画し、市内在住作家やスポーツ選手の紹介等を館内で展示した。

##### オーサービジット講演会

直木賞受賞作家門井慶喜氏を招いて講演会「歴史に学ぶ」を開催し、市民の読書活動の普及及び意欲の向上に努めた。

##### 本のリサイクル市

本の有効活用を図るため、図書館で除籍した本及び寄贈された本を市民に無料で提供する予定だったが、大阪府北部地震のため中止とした。

| 活動指標等           | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(実績値) | 30 年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|-----------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|--------------|
| 講座・講演会の参加者数     | 人  | 103            | 117            | 22             | 44             | 15<br>【60】              | 40           |
| オーサービジット講演会参加者数 | 人  | —              | —              | —              | —              | 620                     | 350          |
| 本のリサイクル市（提供冊数）  | 冊  | 7,428          | 8,686          | 8,749          | 6,743          | 地震の為<br>中止              | 10,000       |

## 取組内容（活動状況）

＜講座・講演会等参加者数＞

| 年 度      | 名 称   | 参加者数 |
|----------|---|------|
| 平成 28 年度 | ・ビジネス支援講座<br>「高齢化時代におけるネットビジネスのチャンス」                        | 22 人 |
| 平成 29 年度 | ・ビジネス支援講座<br>「人気商品はここが違います～売るためのマーケティング戦略とあは」<br>・ビブリオバトル講習 | 44 人 |
| 平成 30 年度 | ・ビジネス支援講座<br>「アントレプレナーからベンチャーキャピタルへの道」 帰路と選択                | 15 人 |

オーサービジット

| 開催日              | 作家名  | 参加者数  |
|------------------|------|-------|
| 平成 30 年 11 月 3 日 | 門井慶喜 | 620 人 |

本のリサイクル市

| 年度       | リサイクル冊数 | 参加者数  |
|----------|---------|-------|
| 平成 28 年度 | 8,749 冊 | 575 人 |
| 平成 29 年度 | 6,743 冊 | 648 人 |
| 平成 30 年度 | 地震のため中止 |       |

## 評価（Check）

ビジネス支援講座を企画して、読者に興味を持ってもらう切っ掛けをつくり、読書活動につながる事ができた。

オーサービジット事業として市内在住の作家門井慶喜氏の講演会を11月3日、市民文化芸術祭の一環として実施し多数参加され読書活動の推進につなげることができた。

| 評定  | 今後の方向性（Innovation）                                    |
|---|---|
| <b>A</b><br>A:達成している<br>(90%以上)<br>B:おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)<br>C:一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満)<br>D:達成できていない<br>(50%未満) | 今後も効果的な講座を企画するとともに、市民ニーズに応じたイベント等を行うことで市民の読書活動の推進を図る。 |

## 平成 30 年度における取組状況

### 構成取組⑩ 障害者・高齢者・多文化サービス事業

#### 計画 (Plan)

視覚障害者向け点字・録音図書を作成を市民団体との協働で行い、作成した点字・録音図書の目録を視覚障害者や視覚障害者団体に配布し、利用促進を図る。

#### 取組内容 (Do)

##### 点字図書の作成

視覚障害者向け点字・録音図書の作成を市民団体との協働で行い、平成 30 年度は、点字図書 8 タイトル、デージー図書 25 タイトルを作成した。

また、作成した点字・録音図書の目録を視覚障害者や視覚障害者団体に配布し、利用促進を図ることができた。

##### 外国語資料の収集

外国語を母語とする人が図書館に来館してもらえるよう、外国語原書の資料収集に努め、54 冊増やした。

| 活動指標等      | 単位 | 26 年度<br>(実績値) | 27 年度<br>(実績値) | 28 年度<br>(実績値) | 29 年度<br>(実績値) | 30 年度<br>(実績値)<br>【見込値】 | 元年度<br>(見込値) |
|------------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------------|--------------|
| 点字・録音図書の貸出 | 巻  | 1,519          | 1,508          | 2,116          | 1,972          | 324<br>【2,200】          | 1,500        |
| 外国語資料の冊数   | 冊  | 1,143          | 1,173          | 1,582          | 1,664          | 1,718<br>【1,736】        | 1,900        |
|            |    |                |                |                |                |                         |              |

## 取組内容（活動状況）

<点字・録音図書貸出数>

|        | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|--------|----------|----------|----------|
| 点字図書   | 266      | 177      | 1        |
| テープ図書  | 1,350    | 1,386    | 283      |
| デイジー図書 | 500      | 409      | 40       |

※各数値は、巻数

## 評価（Check）

視覚障害者向け点字・録音図書の作成を市民団体との協働で行い、作成した点字・録音図書の目録を視覚障害者や視覚障害者団体に配布し、利用促進を図った。  
平成 30 年度は大阪府北部地震により点字・録音図書の貸出は減少した。

### 評定

### 今後の方向性（Innovation）

|          |                                   |   |
|----------|-----------------------------------|---|
| <b>C</b> | A: 達成している<br>(90%以上)              | 視覚障害者向け点字・録音図書の作成を市民団体との協働で行い、作成した点字・録音図書の目録を視覚障害者や視覚障害者団体に配布し、更に利用促進を図る。<br>また、外国語原書の資料の充実を図る。<br>現在、中央図書館休館中で十分に対応はできていないが段階的な再開に努めていく。 |
|          | B: おおむね達成している<br>(90%未満 70%以上)    |   |
|          | C: 一部達成であり、課題が残る<br>(50%以上 70%未満) |   |
|          | D: 達成できていない<br>(50%未満)            |   |

## 教育大綱重点取組の総合評価

|  |            |   |          |
|--|------------|---|----------|
| ① 日本語よみかき促進事業  | B          | ⑨読書普及啓発事業   | A        |
| ② 成人教育講座事業   | A          | ⑩障害者・高齢者・多文化サービス事業  | C        |
| ③ まちのせんせい活用事業  | A          | ⑪   |          |
| ④ 生涯学習推進調整事務   | A          | ⑫   |          |
| ⑤ 学び館管理事業  | A          | ⑬   |          |
| ⑥ 利用者サービス事業  | C          | ⑭   |          |
| ⑦ ICT化推進事業   | A          | ⑮   |          |
| ⑧ 子ども読書活動推進事業  | B          | ⑯   |          |
| <p>上記については、重点取組内の構成取組における評定を記入し、評定平均を計算。</p> <p><b>評定点数</b><br/> <u>A = 5</u>、<u>B = 3</u>、<u>C = 2</u>、<u>D = 1</u></p>   |            | <p>総合評価基準</p> <p>A：取組評価平均 4.0 以上<br/>           B：取組評価平均 2.5 以上 4.0 未満<br/>           C：取組評価平均 1.5 以上 2.5 未満<br/>           D：取組評価平均 1.5 未満</p> |          |
| <b>評定平均</b>  | <b>4.0</b> | <b>総合評価</b>   | <b>A</b> |
| <b>アドバイザーからの意見</b>   |            |   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習は、費用を掛けてもその成果が見えにくい側面があるため、その点を意識して、成果・効果を分かりやすく、見やすくする工夫が必要である。</li> <li>生涯学習は基本的人権の一つとして位置付けられると考え、教育大綱等で記載している自治体もある。生涯学習に対する自治体の考え方を明確にするための好事例の一つであると考えられるので、寝屋川市でも生涯学習の位置付けの検討において参考にしていきたい。</li> </ul> |            |   |          |
| <b>総合評価</b>  |            |   |          |
| <p>平成 30 年度は、大阪府北部を震源とする地震により、生涯学習及び図書サービスの拠点となる施設が休館となるダメージを受け、本取組は多大な影響を受けた年度であった。</p> <p>そのような中、有効的なサービスの提供はどのようなことかを検討する中で、あらゆる事業の大切さを再確認することができ、またその場に応じた対応を行えた。</p> <p>今後、再構築の検討など、課題が多い中ではあるが、その時々の方策を検討し、実施につなげていきたい。</p>                        |            |   |          |